

平成 3 年 度

主要な施策の成果・基金の運用状況



日野市立図書館 ☎81-7354



1793137

日 野 市

目 次

主要な施策の成果

1. 総 括	1
2. 一般会計による事業	7
総 務 費	8
民 生 費	18
衛 生 費	30
労 働 費	34
農 業 費	36
商 工 費	38
土 木 費	42
消 防 費	98
教 育 費	100
3. 土地区画整理事業特別会計による事業	127
4. 下水道事業特別会計による事業	137
5. 市立総合病院事業会計による事業	145
6. 受託水道事業特別会計による事業	151

財政状況の資料

1. 各会計別決算総括表	160
2. 決算額構成比（普通会計）	162
3. 収入の状況（普通会計）	164

4. 市税の徴収実績	1 6 6
5. 支出の状況（普通会計）	1 6 8
6. 普通建設事業の状況（普通会計）	1 7 0
7. 地方債現在高の状況	1 7 2
8. 地方債借入先別及び利率別現在高の状況	1 7 4
9. 一般会計各款・節別決算額一覧表	1 7 6
10. 一般会計給与費明細書	1 8 0

基金の運用状況

1. 用品調達基金	1 8 8
2. 国民年金印紙調達基金	1 9 2
3. 国民健康保険高額療養費貸付基金	1 9 4
4. 老人入院看護料貸付基金	1 9 5
5. 土地開発基金	1 9 6

主要な施策の成果

・主要な施策の成果

地方自治法第233条第4項の規定に基づき、平成3年度日野市一般会計
及び各特別会計における主要な施策の成果について報告します。

平成4年9月

日野市長 森 田 喜美男

主要な施策の成果（総括）

1. 収支の概要

日野市の平成3年度普通会計決算は、歳入総額485億7,433万円、歳出総額477億1,749万円で、形式収支は8億5,684万円の黒字となり、この形式収支から明許繰越等の翌年度へ繰り越すべき財源5,954万円を差し引くと、実質収支は7億9,730万円の黒字となっている。

歳入歳出決算額の対前年度伸び率は、歳入総額では、4.5%（平成2年度7.5%）、歳出総額では、5.3%（同8.0%）といずれも前年度の伸びを下回っている。

歳入の56.4%を占める市税は、前年度比3.7%の増収となっているが、その伸び率は低下してきている。個人市民税が、所得及び譲渡所得の伸びにより9億9,108万円、7.4%の伸びを示しているのに対し、法人税は、企業収益の悪化等により15.3%の減収となった。固定資産税は、順調な伸びを示し、7.3%の増となっている。

国庫支出金（14.0%減）、都支出金（2.6%減）は普通建設事業費の減などを主な要因として、共に減少している。

その他、利子割交付金、収益事業収入等に景気後退の影響が見られたが、基金からの繰入金、市債などにより、財源確保に努めた。

歳出では、乗鞍高原日野山荘の開設、大成荘の改築、防災情報センターの新築など、「緑と文化の市民都市」の実現を基本理念に「日野市基本計画」に示す5本の柱を市政の指針とし、行政施策の展開を図った。また、急速に進む国際化、高齢化、高度情報化社会への対応と、下水道事業、区画整理事業を中心とする都市基盤整備などの諸施策を積極的に推進した。

次に、主要な財政指標では、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が74.6%となり前年度（69.1%）より5.5ポイント後退したが、公積費比率は昨年の10.0%から9.3%へと好転した。これは毎年行ってきた市債の繰上げ償還や標準財政規模の増によるものである。

2. 施策の概要

平成3年度の主な事業について、「緑と文化の市民都市」の実現に向けた5つの基本目標に沿って、その成果を以下のとおり報告する。

(1) 「生きる喜びを創り出す健康と福祉のまち」

高齢化社会に対応した、国の「シルバーハウジング・プロジェクト制度」及び「日野市地域高齢者住宅計画」に基づき、住宅施策と福祉施策の連携を保ち、高齢者の生活と居住の安定を図ることを目的とした「シルバーハウジング・プロジェクト推進計画」を策定した。また、高齢者世帯の居住の安定と、公共公営住宅との家賃のバランスを配慮した「高齢者民間住宅家賃助成事業」を実施した。さらに「(仮称)日野市多摩川苑福祉ゾーン計画整備構想調査」を行い、複合施設の構成や、全体的なイメージを作成し、基礎資料を得た。

学童クラブの設置は、1小学校区学童クラブを基本として、整備を進めてきたが、「高幡台小学学童クラブ」の新設により、目標とする20施設が完成した。

心身障害者施策では、精神薄弱者の自立生活を助長するために、生活の場を提供し、日常生活における援護及び指導を行う「精神薄弱者生活寮・こばと寮」を開設した。

生活・保健センターでは、通所による「機能訓練事業」を実施した。同じ障害を持つ人々との交流や、集団活動等により、孤立感の解消と、社会参加への意識が高まった。

市立総合病院には「超音波診断装置」を設置し、一層鮮明となった画面により、検査にも、きめの細かい処置が可能となった。また、「関節鏡ビデオ装置」の導入により、超高解像度を実現し、関節等部位の診療に効果をもたらせた。

平成2年度に設置した「市立総合病院建設基金」には、今年度も10億円を積み立て計20億円とした。

(2) 「豊かな人間性を育てる教育と文化のまち」

学校教育施設の整備として、小学校では、「第一小学校校庭整備」「第二小学校給食堂改修」「第三小学校大規模改造」「第五小学校屋内運動場大規模改造」等の事業を完了し、教育環境は一層充実された。また、学習指導要領の改定により、平成4年度から「生活科」が新設されるのに伴い、そのための整備

を初年度分として6校で実施した。「ランチルーム整備」は第八小学校、南平小学校、第三小学校で改造整備した。

中学校では、「第四中学校外壁等改修」「七生中学校屋内運動場大規模改造」「平山中学校食堂新築」等を実施した。これで、市内の全ての中学校に食堂を備えた給食施設が完備された。また、平成5年度から、技術家庭科にコンピュータ授業が導入されるため、第一中学校、第二中学校、大坂上中学校に各21台のパソコンを設置した。

年々高まる環境問題について、その認識を深めるなど、環境教育をより充実するための「環境副読本」を作成した、小学生(3~6年生)中学生(1~3年生)にそれぞれ配布した。

社会教育事業では、夏季期間、仲田緑地(旧桑園跡地)を借上げ、「自然体験広場」を開設した。身近な所で自然に親しめるキャンプ場として多くの市民に利用された。

週休2日制などの余暇時代に対応した、市民の保養施設として建設されていた「乗鞍高原日野山荘」は、平成3年7月にオープンした。雄大な景観と行き届いたサービスが市民に好評を得ている。また、林間施設や、市民も利用できる施設として、清里高原の「大成荘改築」に着手した。

市民の郷土に関する関心の高まりに対応し、平成元年度から3か年計画で日野の歴史、自然、風俗等をわかりやすくまとめた「ひのふるさと歳時記」を刊行した。

身近な体育施設として、学校体育施設の利用は年々高まっているが、勤労青少年のスポーツ・レクリエーション活動の場として、「第四中学校屋外運動場照明設備及びクラブハウス」を設置した。これにより、中学校5校に照明設備が完備された。また、農林水産省淡水区水産試験場跡地の一部を借上げ、多目的広場として「浅川スポーツ広場」を開設した。

(3) 「自然と調和する安全・快適なまち」

秩序ある市街地と豊かな生活環境を形成するためには、地域特性を生かした土地の有効利用と計画的な都市環境づくりが必要である。

平成9年に開通予定のモノレール新駅周辺の土地利用とその土地利用イメージを検討する「多摩都市モノレール新駅周辺調査」を実施した。また、三大ターミナル周辺での公共駐車場整備の基本方針と整備計画を骨子とした「公共駐車場整備計画」を作成した。

都市基盤整備の一環として、土地区画整理事業を積極的に推進した。万願寺地区及び高幡地区では、区画街路築造、水路築造、建物の移転等を完了した。また、豊田南地区では、換地計画、区画道路築造、事業用地取得を実施した。万願寺第二地区では、事業認可後、事業計画に向けて、事前協議、及び縦覧を行い、権利調査を実施し、さらに、「立体換地方策調査」を併せて行った。東町地区では、都市計画決定を行うとともに、事業認可のための計画案等の作成を行った。組合施行の南平、四ツ谷前地区には、事業費の助成と技術の援助を行った。

道路整備事業では、平成元年度から実施していた「都市計画道路3・4・14号線改築」や「市道〇2号線道路改良」「幹線市道Ⅱ-45号線舗装補修」等、計画的に道路整備を推進した。さらに、交通安全対策としては、防護柵、道路反射鏡、視線誘導標等を設置し、歩行者の安全と事故防止につとめた。

自転車対策は、開通した万願寺歩道橋近くに、浅川左岸の市民にも利用できる「高幡不動駅北第4駐輪場」を新設し、日野駅周辺対策としては、有人管理の有料駐輪場「（仮称）日野駅西第5自転車駐車場等新設工事」に着手した。

バス交通対策は、不便地域の解消として、日野駅～豊田駅北口、高幡不動駅～聖蹟桜ヶ丘駅間に、それぞれミニバスによる定期運行を開始した。

緑あふれる美しい環境づくり施策としては、「緑地信託」「緑地用地取得」を積極的に行い、また、総合公園として都市計画決定されている「北川原公園事業用地取得」も引続き行った。建設省の河川改修計画に合わせ、現在の市民プールを改良し、浅川と一体化した親水公園として整備する「駒形公園改造に伴う実施設計」を行った。

水に親しめるまちづくり事業では、「浅川遊歩道」や「日野用水（上堰）遊歩道」の整備を、また、「南平用水路」「向島用水」等の水路改修工事を行い、地域環境の整備と水質の浄化につとめた。また「水辺情報提供管理システム作成」等を通じて親水事業に対する市民意識の高揚を図った。

重点施策である下水道事業は、浅川処理区では、平成4年度の供用開始を控え大里幹線、寺ノ下幹線、七生幹線等の整備を、また万願寺、豊田南土地区画整理地内及び浅川右岸の一部についても整備した。秋川処理区は、秋川中央幹線の整備と、旭が丘、日野台地域の面整備を行った。また、南多摩処理区では、ほぼ全域を供用開始し、今年度は、若干の未整備区域の面整備を行った。日野駅周辺の浸水を解消するため、昭和50年から「神明上都市下水路整備」を進めてきたが、今年度で完了した。

市営住宅の建て替えは、「川原付団地市営住宅建替（第4期）」が完了し、住宅戸数の増加、居住水準の向上、さらに良好な市街地が形成できた。

災害時には、より早く、より正確な情報を市民に伝えることが重要であり、防災体制の充実と、緊急システムの拠点をめざした「防災情報センター」の用地を取得し、建築工事に着手した。

(4) 「活気ある産業と豊かな消費のまち」

農業をとりまく情勢は、後継者不足や国際的な市場開放問題等、極めて厳しい状況にある。そこで、1ha以上の農地を優良集団農地に指定し、農業の機械化と、生鮮野菜の供給及び緑地の保全を図る「優良集団農地保全育成」をはじめ「生産緑地保全育成」「都市農業推進活動」事業を通じて、農業の活性化と都市と調和した農業経営の確立を図った。

商工業の振興策は、「中小企業事業資金融資あっせん」「小規模事業者育成」「商店街イベント補助」等を実施し、商工業者の育成と、商店街の活性化につとめた。

市内には、多くの史跡や多摩川、浅川の自然など貴重な観光資源が点在している。そこで「緑と清流のまち・日野」をテーマにした観光パンフレット及びウォーキングマップを作成し、観光宣伝のため市の内外に配布し好評を得た。

「日野市産業まつり」は、6万人の市民が訪れ、農業生産者や商工業者との交流を通じて、市内産業への理解を深めた。春の「ふるさと日野まつり」、秋の「高幡不動菊まつり」と共に、年々市民の間に定着している。特に菊まつりは、都でも指折りの祭典となっている。

勤労者のための施策では、中小企業の福利厚生向上をめざして発足した「日野市勤労者互助会」が設立10周年を迎え、記念事業を盛大に挙行了。会員は、521事業所2,527名を擁する組織に成長し、雇用の安定と事業の振興に大きく貢献した。また、「雇用促進特別事業」は、公共事業の発注を特別に行い、日雇労働者の生活安定を図った。

(5) 「参加と連体でつくる市民自治のまち」

「核兵器廃絶・平和都市宣言」の精神に基づき、平和の尊さを後世に伝えるため、平和事業基金の活用により「平和行事等参加補助」「平和映画の集い」「非核平和展」及び「外国人留学生の修学援助」等の事業を推進した。

地域住民の交流と連帯を図り、文化教養活動の場を提供する、地区センター

の整備は、57番目の「金子橋地区センター」を新設し、既存の「新井地区センター」「大和田地区センター」を全面改築した。「旭が丘地区センター」は施設の改築を行い、充実を図った。「平山城址公園駅前市公共施設基本設計」については、図書館と集会施設を核とする複合文化施設としての設計を行った。

女性のための施策では、「第43回婦人週間記念映画会」「婦人センター'91市民交流会」をそれぞれ開催し、女性の地位向上をめざして、啓発行動、情報の提供、ネットワークサービスなどを推進した。

乗鞍高原日野山荘や市民プールの運営事業等、日野市が行うサービス事業を受託する「日野市企業公社」に運営費の補助を行った。

市民サービスの向上と、事務処理の効率化をめざして、コンピュータ利用によるシステムの確立につとめてきたが、今年度は「財務関係電算化基本計画」の策定を行った。今後、財務会計事務の効率化は勿論、全庁的なOA推進により行政サービスの向上に大きく寄与することが期待できる。

一般会計による事業

総 務 費

事業名	事業の概要	事業費
平和推進事業	平和行事等参加補助 補助金額 { 広島・長崎 4万円／人 { 沖縄 5万円／人	1,750千円
	平和映画の集い 8月11日（日）開催 「千羽づる」他1本 を上映	789千円
	非核平和展の開催 8月13日（火） ～16日（金）開催	1,150千円
	平和啓発フィルムの購入 16ミリフィルム3本購入 「木を植えた男」 「ビキニの海は忘れない」 「せんすい艦に恋をしたクジ ラの話」	659千円

成		果	
広島、長崎、沖縄の平和行事等に参加する市民に対して、参加費用の一部を補助することによって、市民の平和運動の意識高揚を図った。			
参加内訳	{	広島 14人 長崎 11人 沖縄 15人	計40人
市民会館において、平和に関する映画を上映し、市民の平和意識の高揚を図った。			
入場者数 700人			
庁舎市民ロビー、会議室において、戦争と平和に関する資料や写真パネルの展示等を行い、市民の平和意識の高揚を図った。			
平和に関するフィルムを市立図書館のフィルムライブラリーに収め、市民一般に貸し出しを行い、平和啓発に役立てた。			

事業名	事業の概要	事業費
(平和推進事業)	平和の本の配布 小学校 「ベトちゃんドクちゃんからのてがみ」 「せんそう一誌と作文一」 中学校 「八月の最終列車」 「番号のいれずみ」 各4冊配布	270千円
	外国人留学生の修学援助 前・後期各6万円 支給人数 前期 45人 後期 50人	5,700千円
日野市企業公社運営費補助	日野市企業公社に運営費等の補助を行った。	補助金 11,558千円 出資金 1,000千円
平山城址公園駅前市公共施基本設計業務	平山城址公園駅前の市公共施設について、基本設計を実施した。	7,416千円

成 果
平和に関する本を購入し、市内の小・中学校の図書館に配布して平和教育に役立てた。
市内在住の外国人留学生の、修学環境の整備向上及び福祉の増進を図り、本市における国際親善の推進に寄与した。
日野市が行うサービス事業を受託し、乗鞍高原日野山荘運営事業、市民プール運営事業及び駐車場事業を代行し、市民生活の向上及び行政サービスの効率的な運営に寄与した。 また同公社に100万円を出資した。
平山城址公園駅前に設置されている平山地区センター及び平山図書館の建替に伴い、地域の文化的要望に応えるため、図書館と集会施設を中心とする複合文化施設の基本設計を実施した。

事業名	事業の概要	事業費
市内連絡バス運行事業	運行路線 日野駅～日野台1丁目 ～日野台2丁目～八王子市石川町～豊田駅北口 運行距離 4.3 km 運行回数 1日13往復	5,585千円
	運行路線 高幡不動駅～三沢台 ～百草園住宅～倉沢～聖跡桜ヶ丘駅 運行距離 6.7 km 運行回数 1日10往復	0千円
日野市史編さん	日野市の歴史を調査・研究し、その成果を「日野市史」として刊行	5,887千円
	五十子敬斎日記の解説と刊行	450千円

成 果
日野台地域を中心とした交通不便地域を解消するための交通（路線バス）の充実。 平成3年11月18日より開設、市は補助金を交付して、京王帝都電鉄㈱に運行を依頼している。
三沢、百草地域を中心とした交通不便地区を解消するための交通（路線バス）の充実。 平成4年3月2日から開設し、京王帝都電鉄㈱が自主運行している。
「日野市史通史編二（下）」の刊行 体裁 A5判 上製本箱入り ページ数 402ページ 印刷部数 1,500部 有償頒布 1部 2,500円
「五十子敬斎日記 大正十三年」の刊行 「五十子敬斎日記 大正十四年」の刊行 「五十子敬斎日記 大正十五年」の刊行 体裁 B5判 並製本 ページ数 大正十三年 142ページ 大正十四年 145ページ 大正十五年 139ページ 印刷部数 各年 500部 有償頒布 各年 1部 500円

事業名	事業の概要	事業費
(日野市史編さん)	史料のマイクロフィルム作成	540千円
市民読本作成・配布	身近な便利帳として活用できるように、窓口ガイド、生活ガイドに分類し、行政サービス全般について紹介している。3年に1回発行 A4判 80ページ 75,000部作成	22,026千円
財務会計事務電算化推進	財務会計事務を電算化するために、①運用設計、②ハードウェアおよびソフトウェアの策定、③導入効果の検討、④開発計画の策定、⑤基本計画書の作成、⑥基本設計までの作業を行った。	17,397千円
ピアノ格納庫改修 (七生公会堂)	公会堂舞台用ピアノの保護のため格納庫の改修工事を行った。	1,906千円
電動式格納庫設置 (七生公会堂)	器材等の格納庫を新設し舞台面積の有効活用を図った。	9,167千円

成 果
日野市所蔵文書、田中与四郎家文書等をマイクロフィルムに撮影し、史料の保存と活用を図った。
市内の全世帯に配布し、以後転入世帯を対象に配布している。 冊子の前、後ページに写真による市民参加の行事や、保養施設などを収録し好評を得ている。
庁内の開発プロジェクトチームと委託業者との共同作業により「日野市財務会計電算化基本計画」を策定した。 基本計画を策定することにより、日野市の財務会計事務の電算化実現に必要な基本的事項を体系化することができた。
利用者の要望に応え舞台用ピアノに「スタインウェイ(セミ・コンサート)」を導入した。これにともない常に湿度を一定に保つことの出来る格納庫が必要になり改修工事を行った。
公会堂の舞台の上・下手ウィングは照明、音響、大道具などの器材が置いてあり、非常に狭く使いにくい状態であった。 そこで上手ウィングの天井の空間にリフターを利用した収納棚を作り、器材を収納することによって、ウィングを広く使用できるようになった。

事業名	事業の概要	事業費
調光装置改修 (七生公会堂)	最新型の調光卓を導入して利用率の向上を図った。	28,222千円
市内郵便局の市民課窓口代行方式	市内16ヶ所の郵便局に、指定の申請書、封筒等を置き、そこからの市民課宛の郵送請求にもとづき、住民票の写し等の交付事務を行う方式である。	487千円

成	果								
現在までの調光装置はフェーダー数・回路数とも不足しており照明効果に不便をきたしていた。 今回の装置導入により、利用者のニーズに応える事ができ、その効果が期待されている。									
平成3年度申請件数 <table><tr><td>住民票関係</td><td>290件</td></tr><tr><td>戸籍関係</td><td>87件</td></tr><tr><td colspan="2"> </td></tr><tr><td>計</td><td>377件</td></tr></table>		住民票関係	290件	戸籍関係	87件			計	377件
住民票関係	290件								
戸籍関係	87件								
計	377件								
現在、申請件数は少ないが、この方式は、時間の節約につながると利用者に喜ばれている。なお、さらに利用率の向上を図るため広報等を利用し、周知を図っていく。									

民 生 費

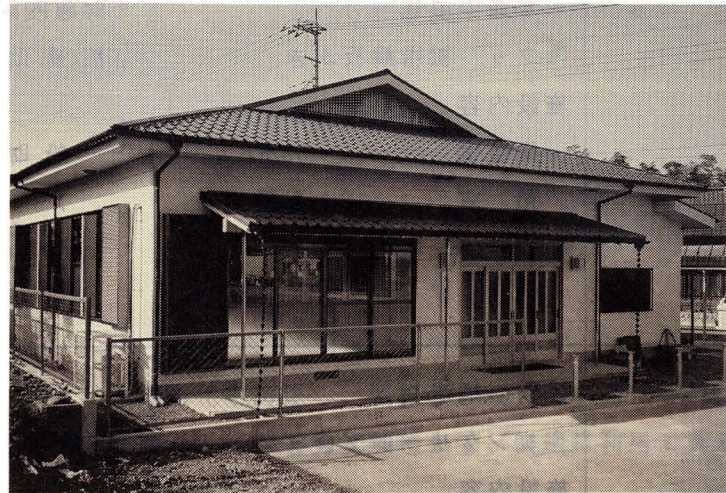
事業名	事業の概要	事業費
グループホームこばと 寮建設用地取得事業	敷地面積 220㎡ 場 所 万願寺172-3	17,255千円
グループホームこばと 寮新築工事	木 造 2階建 1階 76.2㎡ 2階 69.5㎡ 計 145.7㎡ 定 員 4人	32,861千円
通所訓練施設建設補助 金	鉄筋コンクリート造 2階建 グループ指導室 4室 個別指導室 2室 多目的ホール 建築面積 1,637.6㎡ 場所 多摩市落合 2227	30,000千円
(仮称)日野市多摩川 苑福祉ゾーン計画整備 構想調査	平成3年8月日野市老人福祉協 議会から「(仮称)日野市多摩 川苑福祉ゾーン計画について」 の答申を受け、万願寺土地区画 整理事業区域内の建設予定地に ついて、ゾーンのあり方、福祉 関係の複合的な施設構成、施設 配置及び全体的な形態イメージ 作りを目的としたものである。 報告書 100部	1,906千円

成 果
精神薄弱者に生活の場を提供し、日常生活における援護及び指導を行なうことにより、地域での生活を選択できる援助体制ができた。
現に就労、又は、授産施設に通所している精神薄弱者の市内での自立生活を助長するため、生活の場を提供し、日常生活における援護及び指導を行うことにより地域での生活を援助する体制ができた。
重度の精神薄弱及び重度の肢体不自由が重複している在宅障害者に対する機能回復訓練事業を行うための施設が、「社会福祉法人島田療育園」内に建設された。これに対し、八王子、町田、日野、多摩、稲城の5市が補助を行った。
万願寺土地区画整理事業区域内の福祉ゾーンについて、敷地の現状と課題、施設の導入内容及び規模、全体の整備構想等を検討した。これにより今後の課題として問題点が明確になった。

事業名	事業の概要	事業費
シルバーハウジング・プロジェクト推進計画策定	高齢化社会に向け、昭和62年度に建設省及び厚生省により創設された「シルバーハウジング・プロジェクト制度」及び平成2年度に計画策定した「日野市地域高齢者住宅計画」に基づき、住宅施策と福祉施策の連携を図り、高齢者の生活と住居の安定を目的として計画策定した。	1,945千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 1,024 一般財源 921
湯沢福祉センター駐車場設置	設置場所 程久保892番地の7の一部敷地面積 283㎡ アスファルト舗装	3,399千円
高齢者民間アパート等家賃助成	市内の民間アパート等に3年以上居住する65才以上のひとり暮らし世帯又は65才以上の者を含む60才以上の者のみで構成される高齢者世帯に対し、家賃の一部を助成する。 内訳 { ひとり暮らし世帯 65件 高齢者世帯 10件 毎月家賃月額のうち(10,000円上限)	7,684千円

成 果
本計画は、都営日野栄町二丁目団地及び都営日野落川団地における住宅建設に向けて、高齢者向け住宅計画と高齢者福祉サービス供給計画の連携を図るとともに高齢化社会に的確に対応したビジョンの確立を図り、住宅施策及び福祉施策の方向と具体的計画の推進を図るものとする。 なお、都営日野栄町二丁目地内には、市北部の高齢者住宅福祉サービスの拠点となる「(仮称)日野市栄町サービスセンター」を併設する推進計画を策定した。
福祉センターより100m以内の場所で9台の確保が可能なため、施設利用者から好評を得ている。
公共公営住宅との家賃のバランスと、高齢者世帯の居住の安定を図れるようになった。

事業名	事業の概要	事業費
痴呆性老人ミドルステイ事業	痴呆のある老人を介護している家族が、病気その他の理由によって介護が困難になった場合、老人を4週間まで施設で預かる事業。 利用実人員 7人 延日数 264日	1,611千円
新井地区センター新築	施設の規模 敷地面積 329.000㎡ 建築面積 187.587㎡ 建物の構造 木造平屋建 フッ素樹脂加工鉄板葺 施設内容 集会室 46.06㎡ 和室 30畳・8畳	42,745千円 。財源内訳 都補助金 920 一般財源 41,825

成 果
現在行っている痴呆性老人ショートステイ事業との継続利用が可能となり、痴呆性老人を介護している家族の負担の軽減が図られた。
万願寺土地区画整理事業施工に伴う敷地分割（道路築造のため）で解体後新築した。 当地区センターは、昭和42年に開設され、老朽化も進み、このたびの新築で、地域住民相互の交流・連帯がより深まることが期待できる。

完成した新井地区センター

事業名	事業の概要	事業費
金子橋地区センター新築	施設の規模 敷地面積 146.94㎡ 建築面積 72.72㎡ 建物の構造 木造平屋建 フッ素樹脂加工鉄板葺 施設内容 和室 27畳 所在地 日野市本町二丁目10番地の21	19,261千円
大和田地区センター改築	建物の構造 木造平屋建 フッ素樹脂鋼板ぶき 施設内容 集会室 52㎡ 和室 12畳	26,986千円 ・財源内訳 { 都補助金 6,522 一般財源 20,464
旭が丘地区センター改築	建物の構造 コンクリートブロック 施設内容 集会室 54.37㎡	21,630千円

成 果
地域住民相互の交流・連帯を深めると共に、各種サークル活動・文化・教養活動の場を提供することによって潤いと活力のあるコミュニティ活動の推進が期待できる。
地区センターの老朽化（昭和40年9月開設）に伴い全面改築を行うことによって利用者への利便をはかりコミュニティ活動の推進が期待される。
コンクリートブロックの劣化を防止し、屋根の修復・防水強化を行い、集会室を広げ、天井・照明等を改良しトイレも男女別にして、快適に利用できるようになった。

事業名	事業の概要	事業費
第43回婦人週間記念 映画会	映画：「八月の鯨」 日時：4月13日（土） 午前部 10:00～12:00 午後部 1:00～3:30 会場：市民会館 小ホール 対象：一般市民 参加者：339名	139千円
高幡台小学童クラブ 新設	施設の規模 面積（2教室）125.8㎡ 施設の構造 鉄筋コンクリート 施設内容 遊戯室 休憩室 事務室ほか 所在地 日野市程久保531番地の7 （高幡台小学校内）	3,862千円

成果
日本の女性が初めて参政権を行使した4月10日を記念して昭和24年以来、労働省はこの日にはじまる1週間を「婦人週間」と定め、今年で43回を迎えた。 本市においても記念行事として、更に婦人参政権行使の主旨をも含め周知するため映画会を実施した。 海辺の静かな別荘で二人の老姉妹が昔からの仲間たちとの友情と支え合いの中で暮している。“老い”は確実にすすんでいく…八月にはいると入江にやってくる鯨を見に行った少女時代。あの青春の思い出ある鯨！今年も見る事が出来るだろうか？ハリウッド黄金時代名優（リリアン91歳、ベティー79歳他）たちが演ずる珠玉の名編は、この日の参加者に感動を呼び起こさせた。
学童クラブの施設設置は、1小学区1学童クラブの基本計画に基づき実施し、平成3年度をもって計画どおり20施設が完了した。 従来、当地域は、高幡台小学校の児童と程久保小学校の児童（各々1年生から3年生）を1施設で受け入れていたため、入所できない児童がいたが、当クラブを新設したことにより解消した。

事業名	事業の概要	事業費
婦人センター '91市民交流会	テーマ 「共に生きる」 <第1回> 9月13日(金) 「護られていますか子どもたちは」 —心はどう育つか— 講師 吉川武彦氏 会場 生活保健センター <第2回> 9月30日(月) 「もっと自分らしく生きる」 講師 田部井淳子氏 会場 本庁505会議室 <第3回> 10月12日(土) 「母は恋人」 —我が家の老人問題— 講師 木村松夫氏 会場 生活保健センター ※開催時間 いずれも PM 1:30~4:00 { 講演 1時間30分 交流 1時間 対象: 一般市民 参加者: 延300名	884千円

成果
女性センターは、女性の生活と地位の向上を目指して、啓発活動や情報の提供、ネットワークづくりなど、活動の推進拠点として着実にあゆんでいる。 今年も一昨年よりひき続き、交流会のテーマを「共に生きる」とした。変化する社会環境と相まって「生きる」ことの権利が保障されているだろうか? 「環境と人権」を基本的な考え方として“子どもの周辺”は吉川氏に“働く女性の周辺”は田部氏に“老後のくらしをめぐって”は木村氏に、各々の領域に視点をおいて交流会を開催した。 変革する社会状況の中で自分らしくしかも他と協調しながら人間性ゆたかに生きるには…。参加者は、「共に生きる」ことへの新たな課題をもって閉会した。 活発な意見交換が行れたことは交流会の成果であった。

第3回 会場風景

衛 生 費

事業名	事業の概要	事業費				
機能訓練	事業開始 平成3年9月 対象（40歳以上の市内在住者） ・身体機能が低下し機能訓練を必要とする人 ・医療によるリハビリを終了している人 ・自力又は家族等による送迎で通所可能な人 ・集団訓練に対応可能な人 実施場所 生活・保健センター 内容 理学療法、作業療法、言語療法を通し、日常生活、社会生活に役立つ訓練を週1回実施	8,308千円 ・財源内訳 <table><tr><td>都負担金</td><td>2,445</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>5,863</td></tr></table>	都負担金	2,445	一般財源	5,863
都負担金	2,445					
一般財源	5,863					
日野市民健康のつどい	実施日 平成3年10月20日（日） 対象 一般市民 実施場所 生活・保健センター 参加者数 850人	1,587千円 ・財源内訳 <table><tr><td>国庫補助金</td><td>529</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>1,058</td></tr></table>	国庫補助金	529	一般財源	1,058
国庫補助金	529					
一般財源	1,058					

成 果
通所機能訓練は、家から外に出ることにより、生活の場の拡大をもたらし、自分と同じ障害や境遇にある人々と共感ある交流が生まれ、かつ、集団活動等により孤立感の解消ができ、障害を持つ人なりの社会参加に寄与することができた。 実人員 13名 延人員 239名

訓練にはげむ人々
市民の健康の保持、管理、増進のため、市民各層の積極的な参加を呼びかけ、講演会、ビデオ放映、健康体操、健康度チェック等を行い、健康づくりの意識と保健衛生知識の向上と普及啓蒙につとめた。

事業名	事業の概要	事業費
合併処理浄化槽 設置補助	対象地域内において、合併処理 浄化槽の設置者に予算の範囲内 で補助金を交付。 設置基数 18基	24,960千円 ・財源内訳 都補助金 16,640 一般財源 8,320
クレーンパッカー 車両導入補助	新型車両（クレーンパッカー 車）7台導入	16,100千円

成 果
放流水のBOD平均目標20mg/l以下の機能をもつ、し尿と雑排水を合併して 処理する浄化槽を設置することによって、生活排水による公共用水域の水質汚濁の 防止を図った。
ごみ収集に従事する職員の安全性、衛生性及び効率性の面からクレーンパッカー 車両の導入を補助し収集時間の短縮・職員の安全面、衛生面で当初の目的を達成し た。

労 働 費

事業名	事業の概要	事業費
日野市勤労者互助会 運営費補助	中小事業所に働く事業主と従業員の福利互助共済事業	18,000千円
雇用促進特別事業	立川公共職業安定所曙町労働出張所に登録する日雇労働者は、4月～7月にかけて公共事業の端境期にあたるため、求人は減少し生活は非常に厳しくなる。これらの日雇労働者の生活安定を図るため、特別に事業を起こし雇用の促進を図った。	4,857千円

成 果
日野市勤労者互助会は、市内の中小企業に働く事業主と従業員の福利厚生向上に役立て雇用の安定と振興発展に寄与した。又今年度は設立10周年記念の行事を行った。この1年間で30事業所126会員が増え、計521事業所2527名を擁するまでになった。
公共事業の発注が少ない5月～6月にかけて延200人の雇用を行い、日雇労働者の生活安定を図ると同時に、防災用砂袋作り、市道側溝の清掃、広場の除草等を行い、防災用砂袋の備蓄と環境維持、美観保持につとめた。

農 業 費

事業名	事業の概要	事業費
農業近代化資金利子補給	利子補給率 1.5%	825千円
優良集団農地保全育成	指定面積 5.37ha 事業種目 生産資材の購入 農機具の購入 農業用構築物の購入	8,295千円 。財源内訳 都補助金 5,530 一般財源 2,765
生産緑地保全育成	一事業 1,000千円以上 補助限度額 500千円	7,500千円
産業まつり農業展	農業団体参加数 12団体 農業展共進会 出品展数 387点 農産物即売 東京南農協青壮年部 花き生産組合即売部会	2,300千円
都市農業推進活動	日野市都市農業推進協議会設置 農業委員会1人 委員19人 各種農業団体代表10人 農業協同組合2人 識見を有する者3人 行政機関職員3人	737千円 。財源内訳 都補助金 358 一般財源 379

成 果
農業者の資本装備、高度化、農業経営の近代化のための長期低利資金の円滑化と自立企業経営農家の推進を図った。
面的なつながりをもつ1ha以上の農地を優良集団農地に指定し、7年間保全協定を締結することによって、農業の近代機械化を促進し、併せて市民生活に欠くことのできない生鮮野菜の供給と緑地の保全に努力し、都市と調和した農業経営に寄与した。
育苗施設、栽培施設、かん水施設、生産資材等の導入により、農業経営の安定化に資するとともに、市民生活に直結する生鮮食料品の供給と農地の保全に寄与することができ、また農業経営全般にわたる資質の向上を図ることができた。
農業展は商工展と同時開催となって第11回目を迎えた。今回は、二日間の延べ来場者が6万人ともいわれ、盛会さを一段と増してきた。 これは、市民の中に秋の一大イベントとして定着したと思われる。 特に農業展は、都市化の進む中で農業者が鋭意努力した成果を一堂に集め、優秀な各種農産物を展示し、農業の総合的振興発展を図るとともに、優秀な作品を厳正な審査を経て表彰した。同時に市内産の新鮮な農産物を市価より安く即売して一般消費者に喜ばれた。
当市の農業は、都市化に伴う農地の減少、農業後継者の不足や高齢化の進行、さらには、産業構造の変化により農業生産環境が悪化している状況にあるが、なお多くの意欲的な農業者が農業を営んでいる。 こうした中で、生産緑地法の改正により保全される農地の活性化を図り、市民生活に欠かせない生鮮食料の供給と緑地空間の提供など、都市農業のもつ重要性を認識し、地域に支えられる豊かな農業の発展をめざして推進するため、平成4年度から平成8年度の5年間を対象期間とし「日野市都市農業推進計画」を策定した。

商 工 費

事業名	事業の概要	事業費
中小企業事業資金融資 あっせん	貸付実行件数 79件 融資金額 360,350千円 利子補給 13,180千円 保証料 60件 2,725千円 開業資金事務取扱費 4件 12千円	15,917千円
商店会所有灯電気料 補助	市内11商店会に実施	1,468千円
小規模事業者育成	小規模事業者育成条例に基づく 商工業者に、資金調達の援助・ 営業近代化等の事業を行い、事 業者の経営の安定・拡大を 図る。	10,186千円
商店街イベント補助	商店会の催すイベント事業及び 販売促進事業に対し、各別に1 回を対象に補助を行ない、活性 化を図る。	5,100千円
産業まつり商工展	11月16日(土)17日(日)の2 日間、第25回日野市産業まつ り実行委員会により実施。	2,300千円

成 果
市内に居住し、市内外で事業を営む中小企業者のために、事業資金の融資あっせんを行うとともに、利子、保証協会保証料の一部を補助することにより中小企業者の経営改善と設備の近代化を促進し、中小企業者の育成と振興を図った。
市内の商店会等が維持管理している街路灯等に対して、電気料の一部を補助することにより商業活動の振興を図った。
昭和61年度より開始した事業で、今年度は6年目に当り、中小企業の中でも経営基盤の弱い小規模事業者の育成に寄与した。 〔事業状況〕 商工会補助金 6,000 千円 営業近代化指導 301 件 講習会 58 人 利子補給 件数 383 件 (1.5%) 金額 4,186 千円
商店会での事業への取り組みが活性化するとともに、経費負担の軽減が図られた。又、制度を設けたことが刺激となり、新たな取り組みがみられた。 イベント事業 7 件 3,062 千円 販売促進事業 14 件 2,038 千円
第25回日野市産業まつり商工展は、庁舎南側中央公園を主会場とし、11月16日(土)17日(日)の両日開催し、約6万人の市民が来場し、市内商工業者と地域住民との交流を通じ、いきいきとした地域の連帯と社会福祉の向上に寄与した。

事業名	事業の概要	事業費
観光パンフレット等作成	「緑と清流のまち・日野」をテーマに観光パンフレットおよびウォーキングマップを作成	2,502千円
観光協会運営費補助	観光協会運営費の一部を補助、今年度から事務局員1人の雇上げ経費を加算	2,450千円
伸びゆく日野市写真コンクール	出品総数 336点 題材 四季をとおしての市内の観光的景観 入賞総数 34点 実施方法 日野市観光協会委託	700千円
ふるさと日野まつり補助	・5月12日(日)日野中央公園、市民プラザを主会場に実施。 ・市内で新選組パレードを実施	1,000千円
高幡不動尊菊まつり補助	・高幡不動尊境内を主会場とする、菊花コンクール 10月27日～11月15日 参加団体数 11団体 出品総数 752点 入賞総数 255点	1,500千円

成 果
パンフレット(B5版・カラー・22ページ)1,000部及びウォーキングマップ(A3版写真入りカラーイラストマップ)3,000部を作成。観光宣伝のために市内外に配布。
観光協会の活動を通じ、観光宣伝や各種行事が行われている。運営経費を補助することで、円滑な運営が行われた。
市内はもとより市外からも多数の応募があった。入賞作品は市役所ロビーに展示のほか、市内企業にも貸出しをするなどをし、市の観光振興、文化の向上に効果があった。
新聞報道によれば、当日の入出は約2万人となり、新選組パレードには外国人も参加するなど、市内外に日野市をアピールする効果があった。
約3週間にわたる期間中にはテレビ報道などもあり、都外より多数の来場があった。都内でも指折りの菊の祭典となっている。

土 木 費

事業名	事業の概要	事業費
長沼橋架替負担金	橋台 2基 橋脚 1基	29,978千円
基準点測量作業委託	基準点埋標 屋上点埋標 20点 地上点埋標 95点 3級水準測量 40km	48,925千円
道路台帳作成	空中写真測量による図化 路線別図化 1.87km ² メッシュ別図化 3.25km ²	59,740千円
公共用地測量 市道D70-8号線 測量	多角測量(4級基準点測量) 10点 地形測量 6,900m ² 用地測量 4,600m ²	1,133千円
市道K69-10号線 測量	多角測量(4級基準点測量) 21点 地形測量 18,200m ² 用地測量 10,000m ²	2,266 千円
市道幹線Ⅱ-13号線 測量	多角測量(4級基準点測量) 27点 地形測量 44,000m ² 用地測量 44,000m ²	7,025 千円

成 果
建設省による浅川の改修工事に伴って支障になる長沼橋は、日野市、八王子市及び建設省との費用負担に基づき、架替工事が平成2年度から実施されている。平成3年度においては、橋台2基、橋脚1基を施工した。
平成元年度から測量基準点の整備を実施してきたが、平成3年度においては、3級基準点を115点設置した。基準点の整備により、都市計画事業及びその他の公共測量等に統一された基準点を使用することが可能になった。
市内全域の基準点整備に伴い、航空測量による道路台帳作成業務を進めてきたが、平成3年度においては、浅川以北の区域図化作業を実施した。このことにより、道路整備の基礎となる台帳の第1段階が完了した。
市道D70-8号線道路整備のため、境界確定作業を実施し、公共用地と民地の境界が明確になった。
市道K69-10号線道路拡幅計画に基づき境界確定作業を実施し、公共用地と民地の境界が明確になった。
市道幹線Ⅱ-13号線道路拡幅計画に基づき境界確定作業を実施し、公共用地と民地の境界が明確になった。

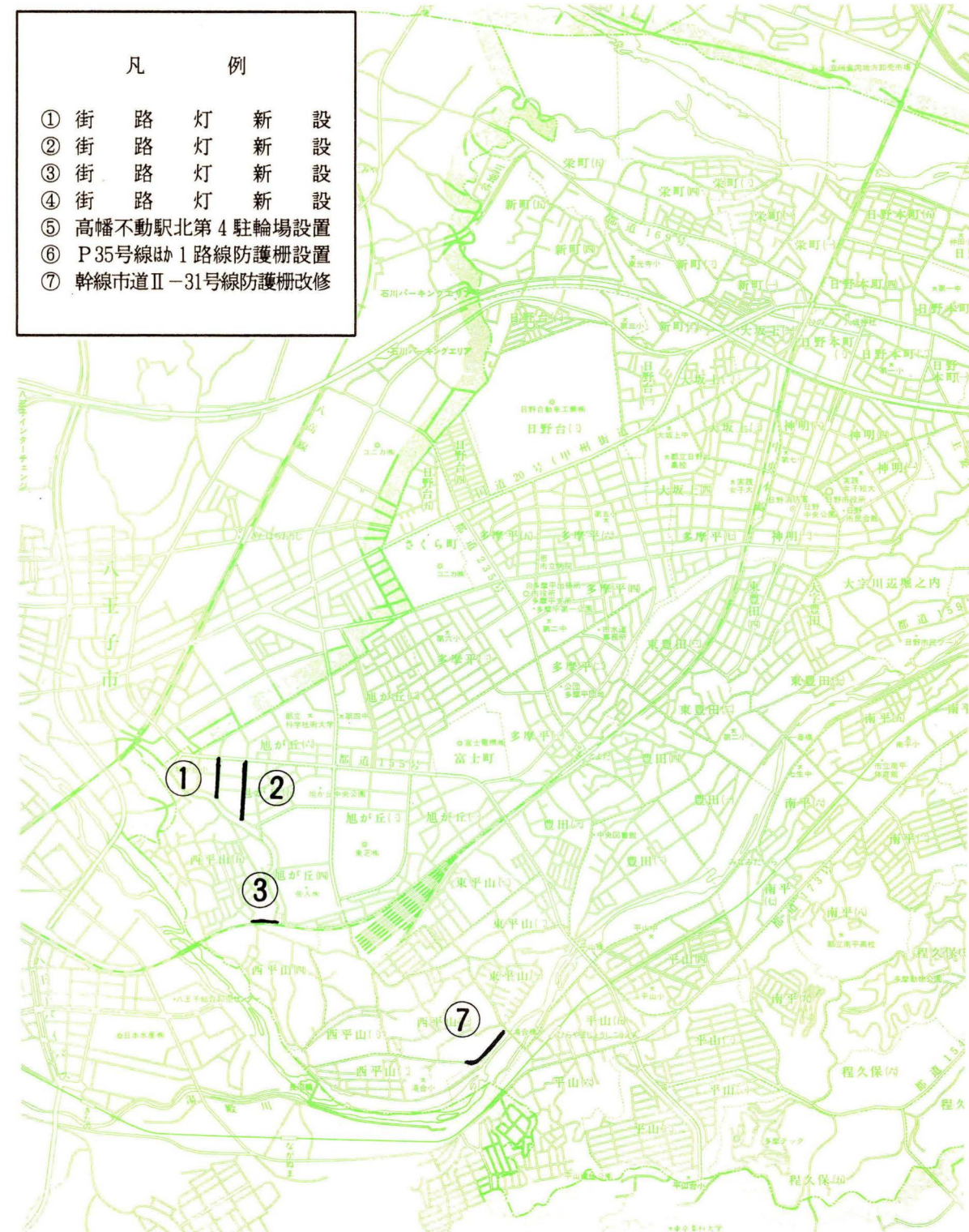
事業名	事業の概要	事業費
市道P35号線ほか 1路線防護柵設置	〔設置箇所〕 新井250番地 } 三沢255番地先 〔内容〕 防護柵 546.3m 視線誘導標 68基	9,425千円 。財源内訳 都補助金 3,139 一般財源 6,286
幹線市道Ⅱ-31号線 防護柵改修	〔設置箇所〕 西平山一丁目2番地 } 西平山一丁目1番地 〔内容〕 防護柵（付け替え） 267.0m	5,459千円
太陽電池式自発光交差点 点検設置	〔設置箇所〕 豊田四丁目17番地先ほか 13箇所 〔内容〕 太陽電池式自発光交差点 14基	3,502千円
道路反射鏡設置	〔設置箇所〕 多摩平三丁目32番地先 ほか12箇所 〔内容〕 カーブミラー13箇所	2,627千円

成 果
ガードレール等を設置することにより、歩行者及び車両の安全通行に効果があった。
老朽化と破損の著しいガードレールを付け替えることにより、車両等の安全通行に効果があった。
交通信号のない交差点に「太陽電池式自発光交差点鏡」を設置することにより、ドライバー及び歩行者に交差点の存在をいち早く知らせ、交差点内での事故防止に効果があった。
見通しの悪いカーブ及び交差点に道路反射鏡を設置することにより、事故防止に効果があった。

交通安全施設整備事業箇所

凡 例

- ① 街 路 灯 新 設
- ② 街 路 灯 新 設
- ③ 街 路 灯 新 設
- ④ 街 路 灯 新 設
- ⑤ 高幡不動駅北第4駐輪場設置
- ⑥ P35号線1路線防護柵設置
- ⑦ 幹線市道Ⅱ-31号線防護柵改修



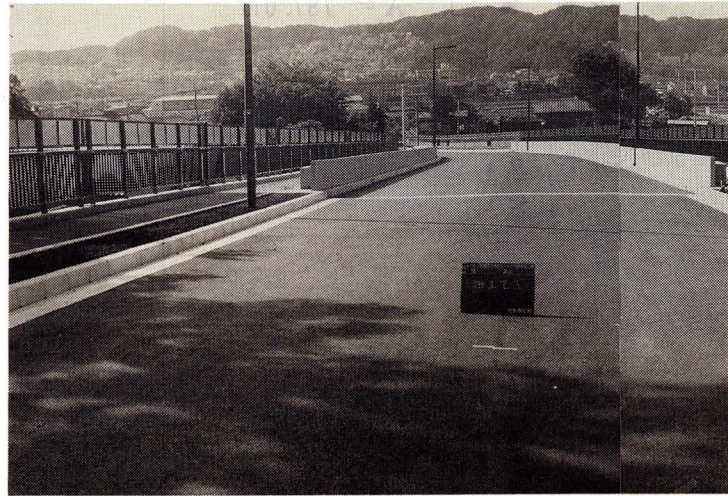
交通安全施設整備事業箇所

凡 例

- ① 街 路 灯 新 設
- ② 街 路 灯 新 設
- ③ 街 路 灯 新 設
- ④ 街 路 灯 新 設
- ⑤ 高幡不動駅北第4駐輪場設置
- ⑥ P35号線1路線防護柵設置
- ⑦ 幹線市道Ⅱ-31号線防護柵改修



事業名	事業の概要	事業費
幹線市道Ⅱ－４５号線 舗装改良	$L = 526.7\text{m}$ $W = 6.0\text{m}$ $A = 3,421.0\text{m}^2$ 舗装工 $A = 3,421.0\text{m}^2$	38,110千円 。財源内訳 { 都補助金 7,350 一般財源 30,760
日野都市計画道路 3・4・14号線築造	$L = 199.0\text{m}$ $W = 16.0\text{m}$ 桁製作工 $L = 85.0\text{m}$ 街築工 $L = 518.3\text{m}$ 舗装工 $A = 2,077.0\text{m}^2$	268,058千円 。財源内訳 { 国庫補助金 48,800 都補助金 17,080 一般財源 202,178

成果
東京都市町村土木補助を導入し、事業を実施した。この整備によって交通の安全確保ができた。
平成元年度より国庫補助金並びに都補助金を導入して着手しているが、年次計画により、3年度も当事業を継続実施した。平成4年度の交差点改良事業によって通行が可能となり、南北地域を縦貫する道路として、交通の円滑化と地域環境の改善に役立つ。

3・4・14号線の上部工事

事業名	事業の概要	事業費
幹線市道Ⅱ-51号線 道路改良	$L = 237.2\text{m}$ $W = 4.1 \sim 5.4\text{ m}$ $A = 1,144.0\text{m}^2$ LU形溝工 $L = 136.7\text{m}$ 舗装工 $A = 1,144.0\text{m}^2$	22,506千円
市道P46号線道路改良	$L = 160.7\text{m}$ $W = 5.3 \sim 6.5\text{ m}$ LU形溝工 $L = 274.2\text{m}$ 舗装工 $A = 787.0\text{m}^2$	18,180千円

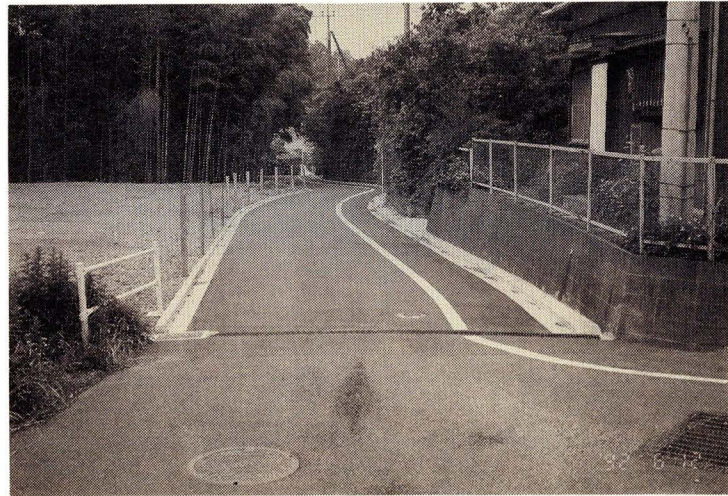
成 果
東光寺小学校周辺の生活環境整備として、公共用地を利用した拡幅整備を行い、安全確保と環境改善を図った。
三沢地域から京王線高幡不動駅へ通じる生活道路として、公共用地を利用した拡幅整備を行い、利用者の安全と環境改善を図った。

整備された市道P46号線

事業名	事業の概要	事業費
市道〇2号線道路改良	$L = 185.1\text{m}$ $W = 6.0\text{m}$ 擁壁工 $L = 105.5\text{m}$ 舗装工 $A = 1,016.0\text{m}^2$	51,500千円
幹線市道Ⅱ-5号線道路改良	$L = 50.6\text{m}$ $W = 6.0\text{m}$ LU形溝工 $L = 58.0\text{m}$ L形溝工 $L = 66.3\text{m}$ 舗装工 $A = 346.0\text{m}^2$	6,345千円

成果
都道川崎街道から百草団地へ連絡する幹線道路として、平成2年度から2か年計画で拡幅整備を行い、利用者の安全確保と生活環境の改善を図った。  建設中の擁壁工事（市道〇2号線） 新井橋から落川方面への幹線道路として、車道の拡幅整備を行い、交通の円滑及び安全の確保ができた。  完成したⅡ-5号線

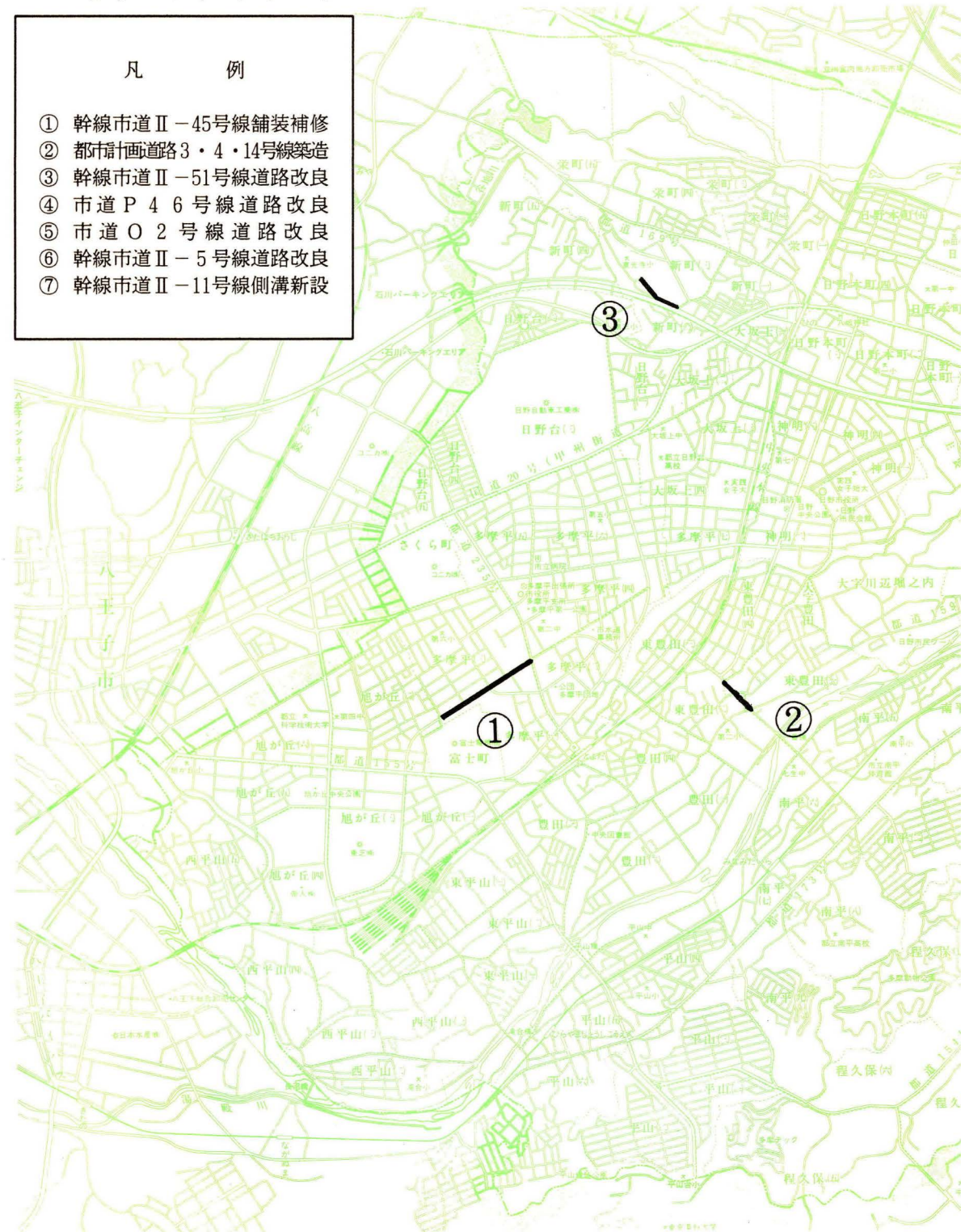
事業名	事業の概要	事業費
幹線市道Ⅱ-11号線側溝新設	$L = 156.7\text{m}$ $W = 4.4 \sim 5.0\text{m}$ U形溝工 $L = 283.9\text{m}$ 舗装工 $A = 696.0\text{m}^2$	14,626千円
緊急補修工事	舗装工 347件 アスファルト合材 580t その他補修 361件 コンクリート製品ほか	10,474千円

成 果
多摩市へ連絡する幹線道路に排水施設を整備し、居住環境の改善を図った。  整備された幹線市道Ⅱ-11号線 道路は常に利用者が安全に通行できるよう求められており、そのためには、舗装及び排水施設の機能が低下しないよう絶えず維持、修繕している。より良い状態で利用できるよう、直営作業により補修工事を実施した。

道路改良事業箇所

凡 例

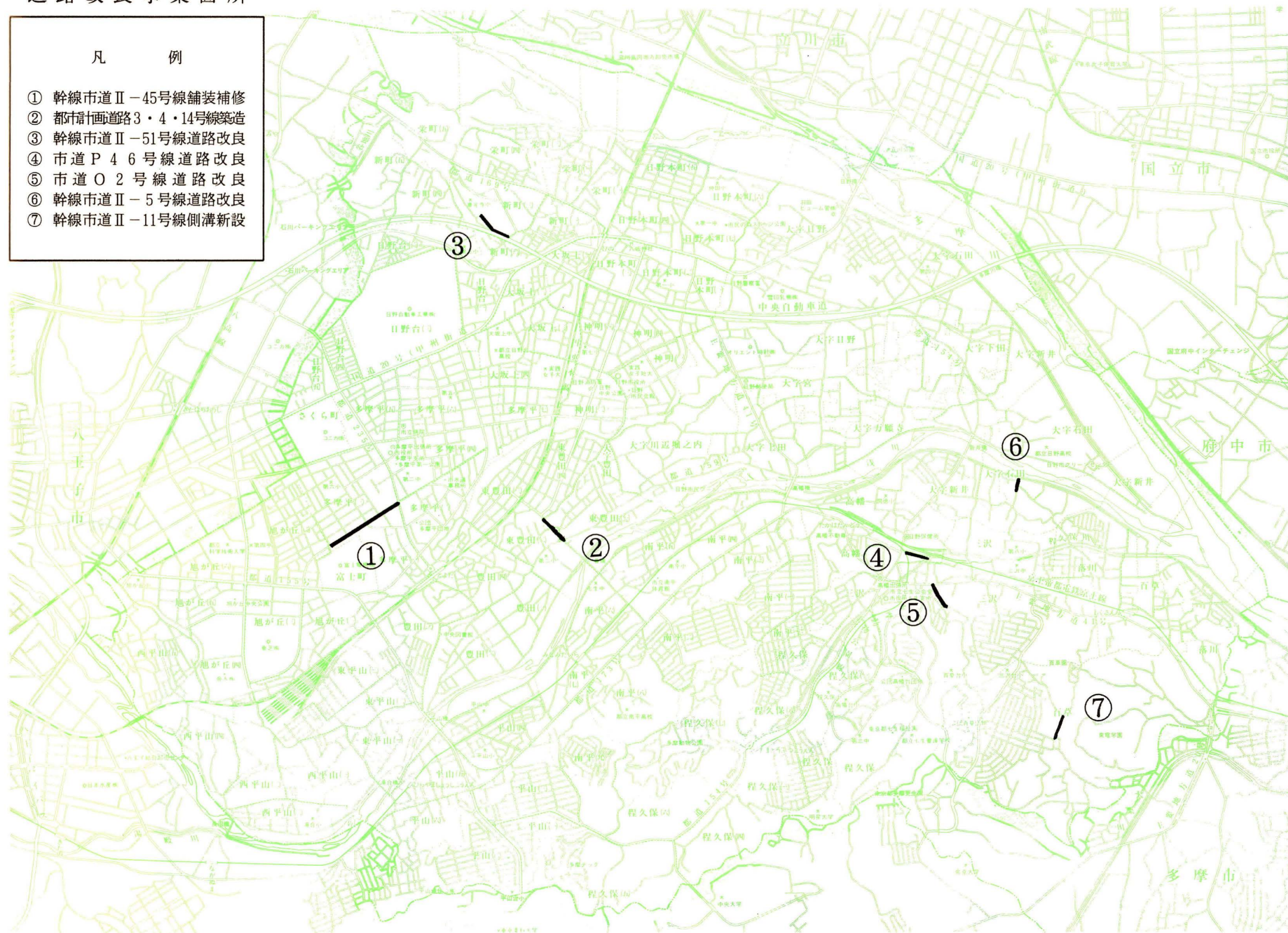
- ① 幹線市道Ⅱ-45号線舗装補修
- ② 都市計画道路3・4・14号線築造
- ③ 幹線市道Ⅱ-51号線道路改良
- ④ 市道P46号線道路改良
- ⑤ 市道O2号線道路改良
- ⑥ 幹線市道Ⅱ-5号線道路改良
- ⑦ 幹線市道Ⅱ-11号線側溝新設



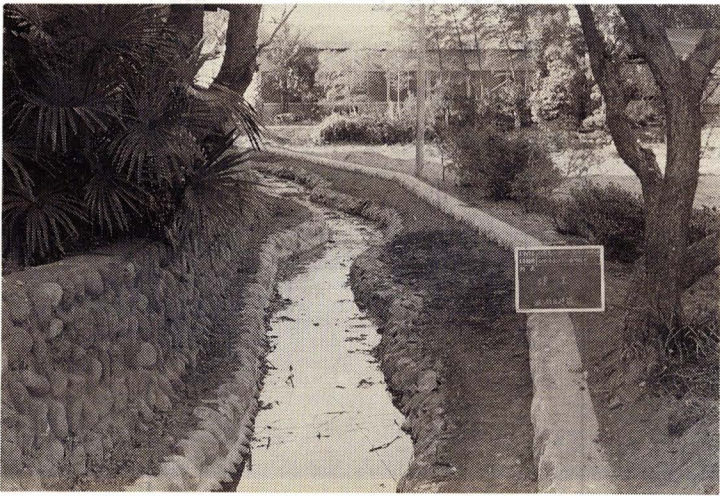
道路改良事業箇所

凡 例

- ① 幹線市道Ⅱ-45号線舗装補修
- ② 都市計画道路3・4・14号線築造
- ③ 幹線市道Ⅱ-51号線道路改良
- ④ 市道P46号線道路改良
- ⑤ 市道O2号線道路改良
- ⑥ 幹線市道Ⅱ-5号線道路改良
- ⑦ 幹線市道Ⅱ-11号線側溝新設



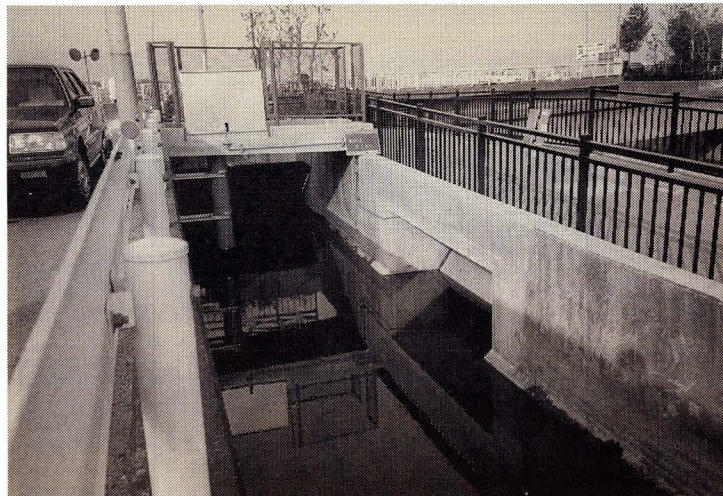
事業名	事業の概要	事業費
南平用水路 (10-3号)改修	L=269.13m プレキャストボックスカルバート工 □ 2,800mm × 1,400mm	144,774千円
向島用水(2箇所)一の宮用水改修ほか15件	用排水路整備 改修工事 8件 L=1,097.2m 補修工事 8件 L= 908.1m	108,086千円

成果
南平地区の浸水対策の為、将来の下水道(雨水)計画に整合させた「矩形渠」を設置した。  ボックスカルバート布設中の南平用水路 大雨の時の浸水防止対策、用水本来の利水機能を合わせもった改修を行い、さらに親水面及び生物が生息出来る環境も考慮した改良を加えた。  近自然工法を用いて整備した水路

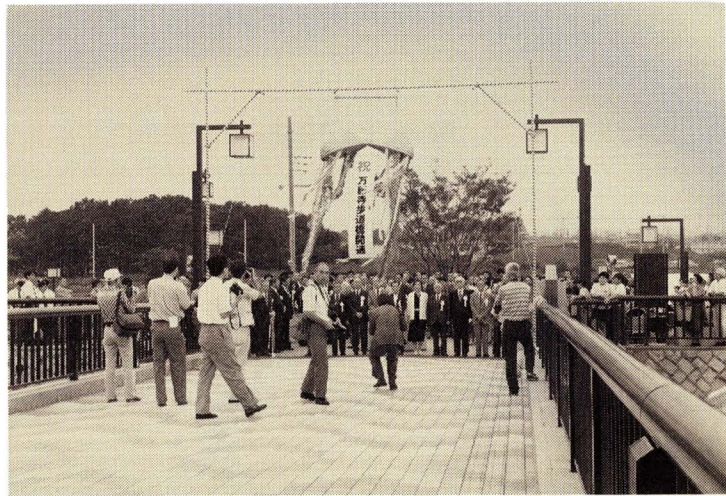
事業名	事業の概要	事業費
浅川遊歩道整備	$L = 765.0\text{m}$ 舗装工 $A = 2,295.0\text{m}^2$ カラー舗装工 $A = 1,147.5\text{m}^2$	13,287千円
日野用水（上堰）遊歩道整備	$L = 170.0\text{m}$ 休養施設工 擬木ベンチ工 5基 四阿工 1基 スツール工 4基 管理施設工 擬木車止工 9基 玉石縁石工 $L = 317\text{m}$ 植栽工 高木 71本 低木 1,580株	13,699千円

成果
浅川堤を安全で快適な遊歩道に整備した。  アクリル樹脂、カラー舗装のサイクリングロード
用水沿いに遊歩道を整備し、親しまれる水辺空間に整備した。  上堰釣場沿いの遊歩道

事業名	事業の概要	事業費
日野用水転倒堰設置	転倒ゲート設置工 (700mm×3,500mm) 1基 2段式スライドゲート (900mm×700mm) 1基	16,749千円
水路網図・水路台帳整備	水路網図、台帳作成	7,313千円
清流週間行事	清流ポスター展示 ミニ水族館開設	1,593千円
用水水質分析	測定地点 25地点 測定頻度 毎月1回 測定項目 BODほか10項目	4,172千円

成	果				
自動転倒堰を設置することにより、大雨時等の緊急対応が安全に出来るようになった。					
					
洪水対策を考慮した転倒堰					
昭和55年に作成した水路網図・水路台帳について、都市化が進んだため再整備した。					
清流をとりもどすための事業として、広く市民に身近な水について関心をもってもらうため実施した。					
・清流ポスター応募数 <table><tr><td>小学生</td><td>1,036点</td></tr><tr><td>中学生</td><td>869点</td></tr></table>		小学生	1,036点	中学生	869点
小学生	1,036点				
中学生	869点				
市内用水の水質を毎月分析することにより、用水の現況把握及び汚濁の解決に向けての情報を収集できた。					

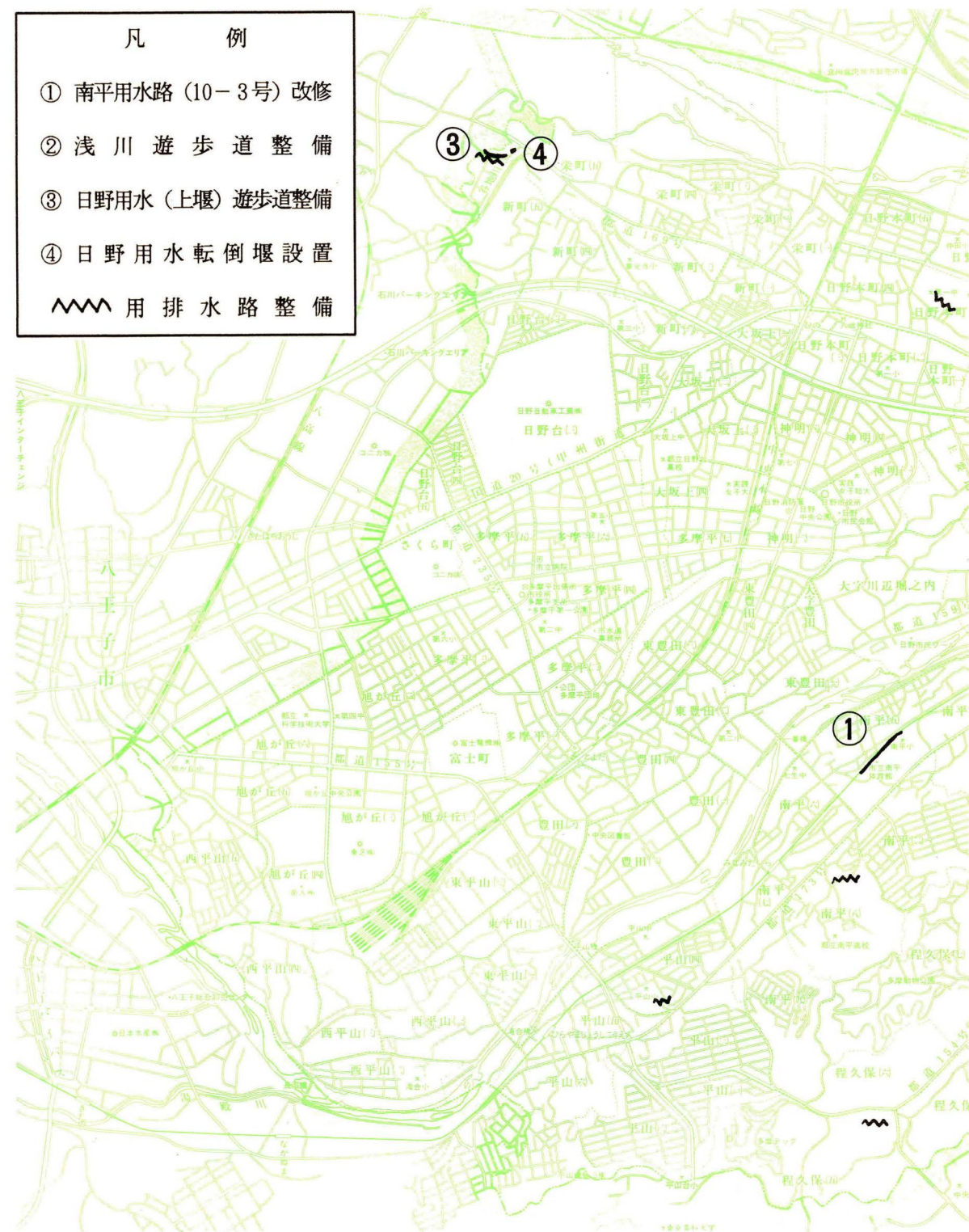
事業名	事業の概要	事業費
万願寺歩道橋（愛称・ふれあいばし）開通式典	開通式典一式	1,607千円
湧水・地下水位定点観測調査	計測地点 湧水 8地点 観測井戸 7地点 計測頻度 毎月2回	2,009千円
水辺情報提供管理システム作成	カルテ情報システム開発	7,725千円 ・財源内訳 都補助金 6,180 一般財源 1,545

成 果
万願寺土地区画整理事業地区と高幡地区を結ぶ連絡路の完成を記念し、開通式典を催した。  開通式典光景
将来的な湧水の保全を考えていくための、基礎的データを収集することができた。
いままでに収集したカルテ情報（地点図、利用状況、意識調査結果、水質データ等）を、コンピュータで処理するシステムの開発（その1）を行った。平成4年度でデータ入力し完成させることにより、清流・親水事業に係わる諸施策等の立案に活用するとともに、市民への水辺情報提供が迅速に出来るようになる。

用排水路整備事業箇所

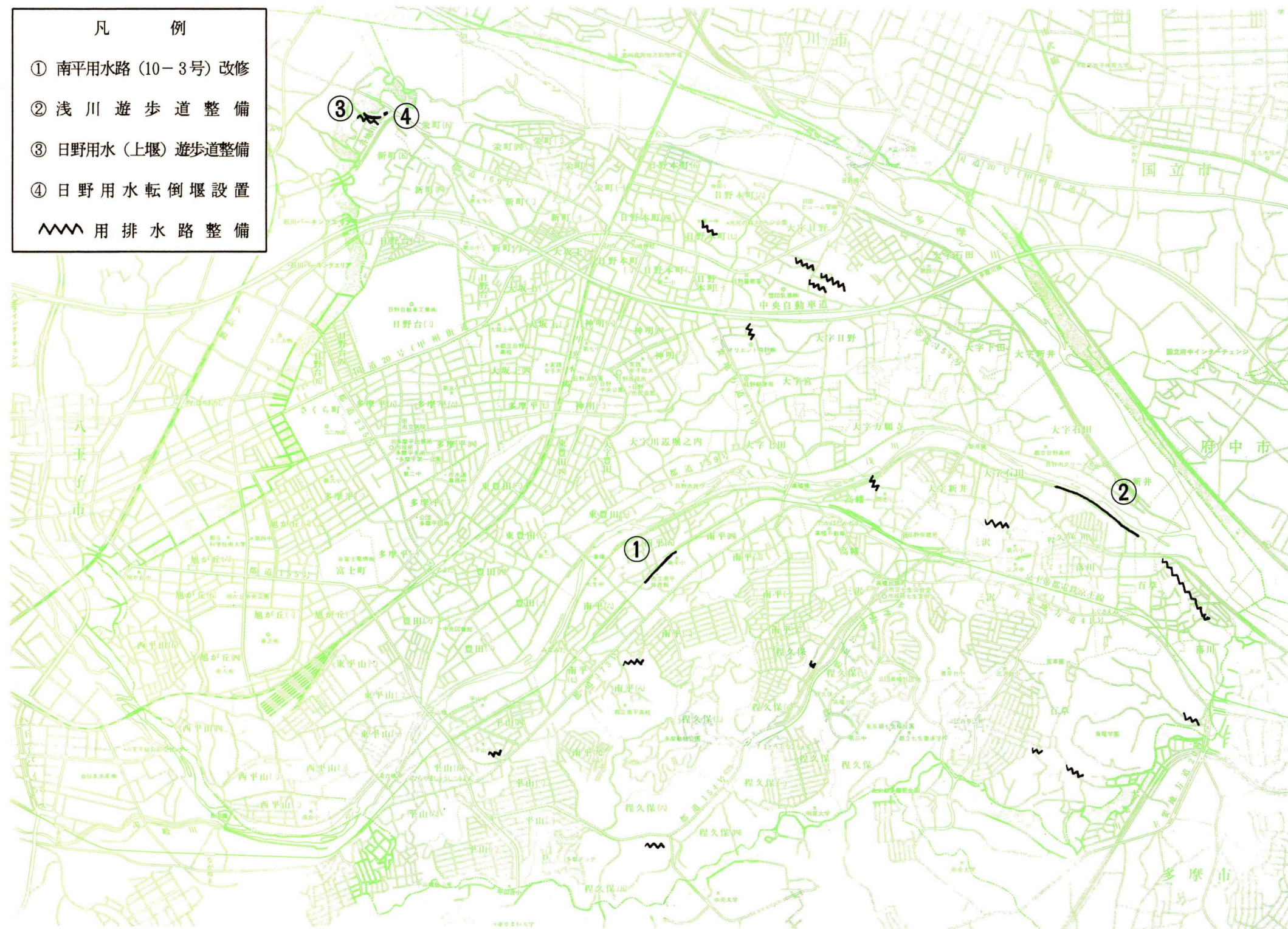
凡 例

- ① 南平用水路（10－3号）改修
- ② 浅川遊歩道整備
- ③ 日野用水（上堰）遊歩道整備
- ④ 日野用水転倒堰設置
- 〰 用排水路整備



用排水路整備事業箇所

- 凡 例
- ① 南平用水路(10-3号)改修
 - ② 浅川遊歩道整備
 - ③ 日野用水(上堰)遊歩道整備
 - ④ 日野用水転倒堰設置
 - 〰 用排水路整備



第 一 章

一、緒言
二、研究の目的
三、研究の方法
四、研究の結果
五、結論

第一章 緒言
一、研究の目的
二、研究の方法

第二章 研究の方法
一、実験装置
二、実験手順

第三章 研究の結果
一、実験結果
二、データ解析

第四章 結論
一、結論
二、今後の研究

参考文献
一、参考文献
二、参考文献

謝辞
一、謝辞
二、謝辞

索引
一、索引
二、索引

おわりに
一、おわりに
二、おわりに

おわりに
一、おわりに
二、おわりに

おわりに
一、おわりに
二、おわりに

おわりに
一、おわりに
二、おわりに

事業名	事業の概要	事業費
水辺環境基本計画策定	1. 水辺の計画条件の把握 2. 水辺の課題の整理 3. 水辺整備のコンセプトづくり 4. 整備拠点の検討 5. 今後の課題整理	7,725千円 ・財源内訳 都補助金 6,180 一般財源 1,545
水辺環境ビデオ制作	ビデオ（映像時間約15分）	3,832千円
水資源監視調査	1. 身近な水の健康診断 2. 水生生物調査	2,936千円
多摩都市モノレール新駅周辺調査	多摩動物公園、程久保、高幡不動、万願寺、甲州街道の各駅	8,755千円
公共駐車場整備計画	豊田駅周辺(34.4ha) 日野駅周辺(27.2ha) 高幡不動駅周辺(26.3ha)	6,695千円 ・財源内訳 都補助金 2,200 一般財源 4,495

成 果
市内において貴重な水辺空間を創出している河川・用水及び湧水について、これまでの調査を踏まえたうえで、まちづくりにおける今後のあるべき姿を検討し、水辺の保全活用の位置づけを行う。 平成3年度は、情報資料の収集及び解析を中心に行った。平成4年度で市内の水辺についての中、長期的な基本計画をまとめあげ、まちづくりにおける水辺の活用について役立てるものである。
水質浄化対策編のビデオを策定し、市内の水辺における水質汚濁等の現状を広く市民にPRするとともに、その浄化へ向けての市民意識の高揚を図った。
市民に身近にある水を採取してもらい、水質分析を行うことにより、水に対する関心を高めた。又、水辺の重要な資源の一つである、水生生物のデータを収集し、生物学的水質判定も行い、この水域の生物的環境の判断材料の一つとした。
新駅周辺の土地利用条件の分析を踏まえ、地域の核となる主要施設と駅周辺整備イメージの検討を行った。又、アクセス道、広場、駐輪場等の関連施設についても計画を行った。
駐車場不足による交通渋滞や、事故の発生及び環境悪化等がもとで、駅周辺の商業等に停滞の傾向がある。駐車場整備計画策定協議会を設置して、駅周辺での公共駐車場の基本方針と整備計画を作成した。

(土木費)

事業名	事業の概要	事業費
生産緑地地区調査	市街化区域内農地 310ha 所有者 1,303人	2,883千円
町名案内板設置	案内板 9基	2,936千円
程久保一丁目地内地籍調査	面積 13.3ha 筆数 529筆 人員 328人	14,420千円 ・財源内訳 都補助金 4,703 一般財源 9,717

成果
生産緑地法の改正に伴い、市街化区域内農地についての調査を行った。保全する農地と宅地化する農地の、区分作業前の現状把握と意向調査を行い、所有者への理解を図った。
町名地番整理案内板を設置して、地域での地番の明確化と住民サービスの向上を図った。
現況と公図とが著しく相違しており、公図閉鎖地区となっていた程久保一丁目地内（金久団地）を、国土調査法に基づき地籍調査を行い、新たな公図及び簿冊を作成した。

事業名	事業の概要	事業費
公園施設の維持管理	公園清掃、除草 施設の保守点検 施設整備・修繕 樹木・芝生管理	74,369千円
緑地の維持管理	草刈り、萌芽更新	30,162千円
旧程久保川緑道整備	整備延長 550m 面積 1,353㎡ 園路広場工 平板舗装 299.0㎡ 緑石 250.4㎡ 修景施設工 植栽 高木 45本 中木 424本 低木 5,825本	42,632千円

成 果
公園を構成する各種の機能を維持し、増進を図り、安全で快適に利用できるよう適正な管理を実施した。
樹木の機能を維持するための剪定、刈込み、病虫害防除等行うと共に、樹林地の適正な管理を行うため、ツル草の除去・下草刈り等を行った。又、樹木の再生を図るために萌芽更新の作業を実施した。
「東京都の水辺整備計画」と整合を図りながら、廃川敷地を東京都より占用し、休憩所・照明・植栽などの施設を設けた。又、水辺へのアクセスのための遊歩道を整備し、周辺環境の改善を図った。  緑道として整備された旧程久保川

事業名	事業の概要	事業費
栄町公園改良	整備面積 207㎡ 園路広場工 縁石 43.3m 管理施設工 擁壁 36.2m ネットフェンス 24.3m 修景施設工 植栽 高中木 12本 低木 310株	5,644千円
神明谷戸公園改良	整備面積 161㎡ 園路広場工 擁壁35.5m 平板 7.0㎡ 休養施設工 植ますベンチ 1基 擬石ベンチ 2基 管理施設工 階段 1基 園名壁 1基 修景施設工 高木・低木植栽 電気設備工 引込柱・園内灯 各1基	5,768千円

成 果
街中の老朽化の激しい既存公園を、地域にあった個性ある公園に改良し、利用面や機能面での活性化を図った。  活性が図られた栄町公園 歩道に面した機能に乏しい小規模な公園に、広場やベンチなどの施設を設け、歩行者や地域住民の休憩や憩いの場となる、広場型の公園へと改良した。  休息、憩いの場に改良された神明谷戸公園

事業名	事業の概要	事業費
大久保公園トイレ設置	建築面積 6.0㎡ ユニット便所 1基 給排水衛生設備 1式	12,360千円
幹線市道1-6号線 植樹帯設置	施工延長 617.2m 緑化面積 257.6㎡ 舗装工 170㎡ 植樹帯工 425.3m 縁石 1,516株 植栽工 1,219株 低木 地被類	10,094千円 ・財源内訳 都補助金 4,670 一般財源 5,424
駒形公園改造に伴う 実施設計	実施設計 2.4ha 地質、土質調査 ボーリング 5箇所 標準貫入試験 50回	47,380千円
多摩動物公園への連絡 路新設に伴う調査設計	実施設計 延長 2.0km 縦断測量 延長 2.4km 横断測量 延長 2.4km	6,077千円

成 果
利用者の多い児童公園を対象に、明るい開放的なトイレを設置し、利用者の便益を図った。
東京都接道部緑化事業の補助を受け、既存の並木ますに連続させて植樹帯を設け、花木を植栽した。道行く人々に花とうるおいのある快適な道路景観を創出し、安全な歩行空間の確保を図った。
 安全、快適な歩行空間として整備された市道1-6号線
建設省の河川改修計画に伴い、老朽化した既存プール施設を全面的に改良し、浅川と一体となった親水性豊かな河川公園に改造するもので、平成3年度は、2年度に策定した基本計画に基づき、実施設計を行った。
南平丘陵公園と、多摩動物公園周辺のハイキングコースを結び、ネットワーク化を図るための連絡路新設の実施設計を行った。

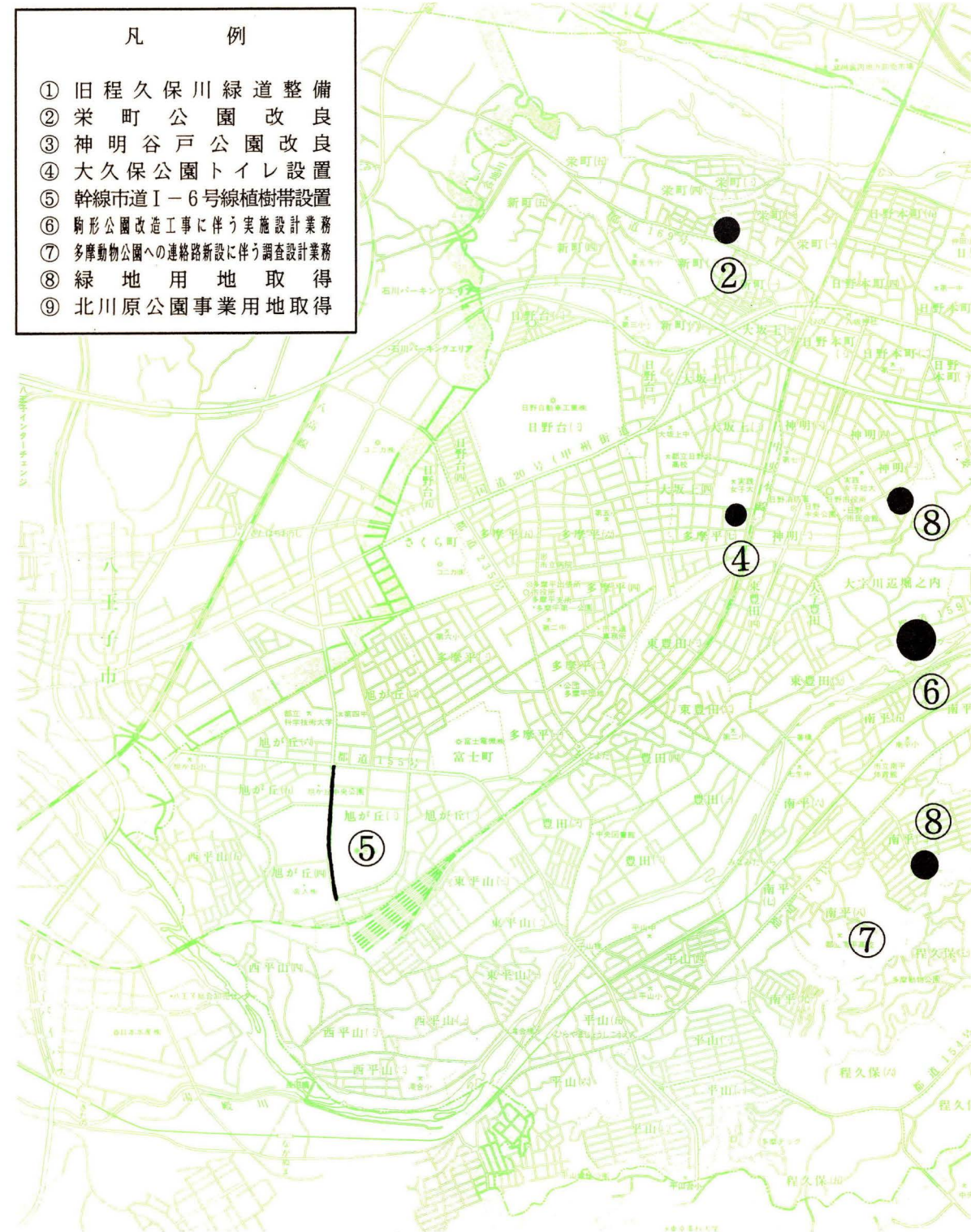
事業名	事業の概要	事業費
公園ガイドブック作成 委託	B5版 20頁 4色刷 5,000部	2,544千円
緑地用地取得	取得面積 8,910㎡ 南平二丁目35番地2外1カ所	680,168千円
北川原公園事業用地取得	取得面積 181㎡ 新井978番19	43,269千円
緑地信託	緑地保全の推進 契約件数 18件 契約面積 61,206㎡ 緑地保全用地の管理 下草刈り件数 16件 実施面積 49,600㎡ 緑地保全料 支払件数 8件 面積 32,387㎡	20,622千円

成 果
市立公園のうち特色のある8公園を取り上げ紹介し、公園利用の活性化と利用者の便益を図るためガイドブックを作成した。
緑地を積極的に公有化し、緑地面積の拡大を進めていくための用地を取得した。
北川原公園は総合公園として9.6haが都市計画決定されており、都市計画道路3・3・2号線の西側1.6haのうち昭和58年9月に1.4haの事業認可を得て、用地の取得を進めている。
緑地信託等に関する条例に基づき、樹林地の緑を存続するため、所有者の理解と協力を得て事業の推進に努めている。又、樹林地の下草刈りや看板の設置など、一般的な維持管理も実施した。  緑地信託事業で整備された樹林地

緑化・公園整備事業箇所

凡 例

- ① 旧程久保川緑道整備
- ② 栄町公園改良
- ③ 神明谷戸公園改良
- ④ 大久保公園トイレ設置
- ⑤ 幹線市道Ⅰ-6号線植樹帯設置
- ⑥ 駒形公園改造工事に伴う実施設計業務
- ⑦ 多摩動物公園への連絡路新設に伴う調査設計業務
- ⑧ 緑地用地取得
- ⑨ 北川原公園事業用地取得



緑化・公園整備事業箇所

凡 例

- ① 旧程久保川緑道整備
- ② 栄町公園改良
- ③ 神明谷戸公園改良
- ④ 大久保公園トイレ設置
- ⑤ 幹線市道Ⅰ-6号線植樹帯設置
- ⑥ 駒形公園改造工事に伴う実施設計業務
- ⑦ 多摩動物公園への連絡路新設に伴う調査設計業務
- ⑧ 緑地用地取得
- ⑨ 北川原公園事業用地取得

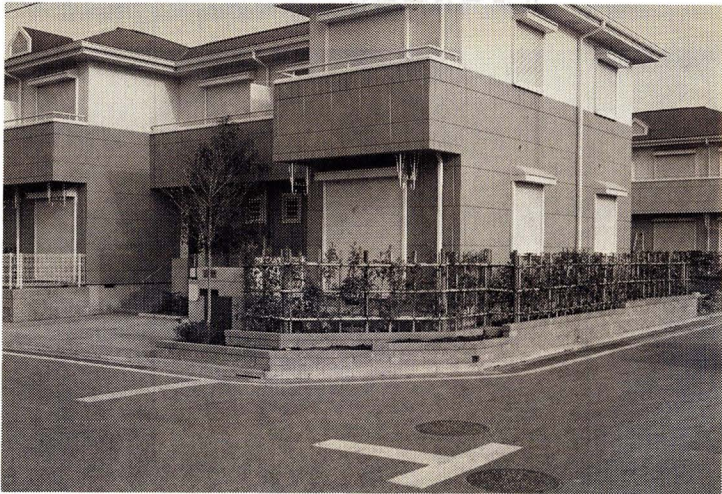


Handwritten text on the left page, mostly illegible due to fading.

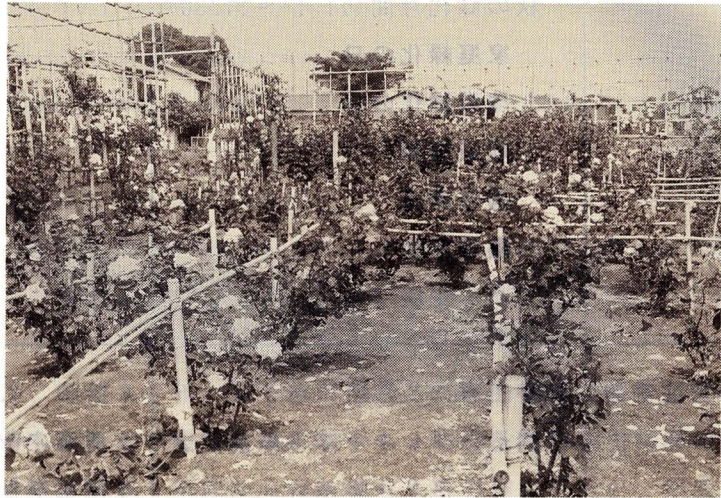
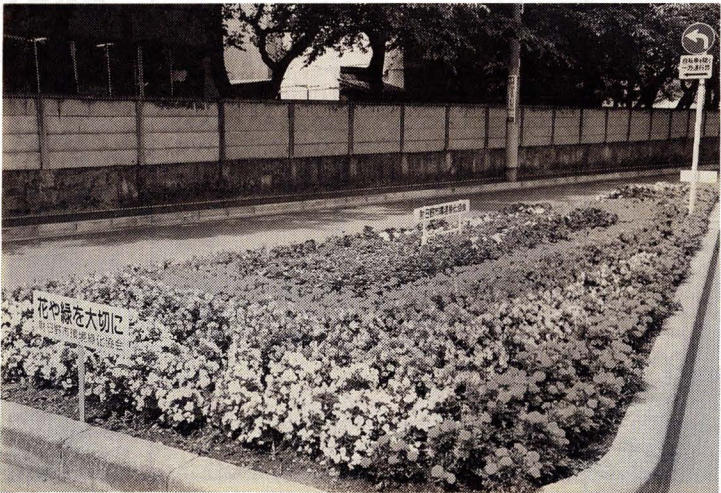
Handwritten text on the right page, mostly illegible due to fading.

Handwritten text on the right page, mostly illegible due to fading.

事業名	事業の概要	事業費
みどりの保護・育成	登録樹及び登録樹林等 樹 木 件数 90件 本数 247本 樹 林 件数 98件 面積 707,542㎡ その他貴重植物等 件数 8件	2,493千円
生け垣等設置補助	市内全域対象 生け垣等設置 (1m当たり10,000円) 件 数 33件 総延長 510m 生け垣化 {ブロック塀等とりこわし} 1m当たり 6,000円 件 数 8件 総延長 56m	5,436千円 ・財源内訳 { 都補助金 2,713 一般財源 2,723

成 果
市内の樹木・樹林の維持のため、その経費を補助することによって、保全を促進していこうとするものである。所有者の緑に対する深い理解と協力により事業を進めており、都市化の進むなかで、この保護制度の果たす役割は重要度を増している。
生活環境の緑化推進のため、道路に面する部分の生垣等設置及び生垣化を図った。都の補助を受け、市民の理解と協力により接道部緑化の推進に努めた。

完成した接道部の緑化

事業名	事業の概要	事業費
花卉栽培苗圃	市営花卉栽培苗圃 栽培面積 2,758㎡ 除草 2,380㎡ 剪定 栽培草花 バラ 750株 ダリヤ 400株 グラジオラス 200球	3,105千円
花卉植付	グリーンベルトほか 花壇等花卉植付	6,800千円

成果
市営花卉栽培苗圃でバラ、ダリヤ等を栽培し、咲いた花々を庁舎各階に配り、職場環境の向上に努めた。

花卉栽培苗圃
（財）日野市環境緑化協会への委託事業として、四季を通し花壇への花卉の植付けを行い、うるおいと安らぎのある街づくりに努めた。

花卉植付で整備されたグリーンベルト

事業名	事業の概要	事業費
緑化推進	緑化月間行事 春の緑化月間(4/1～4/30) 秋の緑化月間(11/1～11/30) 家庭緑化の日 地域緑化の日 地域清掃 園芸講座 園芸相談 パネル展	6,936千円
川原付団地市営住宅建替(第4期)	建替工事 ・構造 プレキャスト鉄筋コンクリート造 ・規模 3階建 1棟 ・戸数 24戸 ・建築面積 532.961㎡ ・延べ面積 1,438.56㎡	253,446千円 ・財源内訳 国庫補助金 107,618 都補助金 50,072 起債 91,400 一般財源 4,356 2～3年度 債務負担行為 ・全体事業費 326,539千円

成 果
緑化月間行事を、(財)日野市環境緑化協会と市の共催で実施した。月間中の諸事業を通し、市民参加による緑化思想の啓発と高揚を図った。
川原付団地は、昭和31年、32年に建設した木造住宅であるが(47戸)、老朽化に伴い昭和53年より建替事業に着手し、昭和55年までに既に3棟67戸の建設を行っている。平成2年度からは1棟24戸の建設を行い、平成3年度で建替事業が完了した(4棟91戸)。 この結果、本事業の目的である住戸数の増加はもとより、居住水準の向上、並びに良好な市街地形成が計られた。

完成した川原付団地市営住宅

消 防 費

事業名	事業の概要	事業費
消防水利整備	消火栓新設ほか 新設 31基	13,639千円
	耐震用貯水槽 1基	12,102千円
災害対策整備	防災備蓄倉庫 3基 〔百草台小学校 東光寺小学校 第五小学校〕	3,244千円
防災情報センター建設	敷地面積 1,387.00㎡ 延床面積 984.73㎡ (構造)鉄筋コンクリート造 2階建(地下1階) 鉄塔 33m	1,275,932千円 。財源内訳 公共施設建設基金 1,000,000 一般財源 275,932 3～4年度 債務負担行為 。全体事業費 2,406,498千円

成 果
消火活動における水利の中心となる消火栓31基の新設及び既設消火栓の維持管理を行い、消防水利の充実を図った。
震災時に備えて、耐震用貯水槽(40t)を新設し、消防水利の充実を図った。
災害時における食糧及び生活必需品等の備蓄倉庫を設置し、その対応を図った。 現在、アルファ米約4,600食、乾パン約51,000食、毛布1,390枚、緊急医薬品セット等を市内小学校13校に配備している。
緊急通信無線を整備することにより、市民により正確な情報をより早く伝えることができる防災情報センターの建設は、実施計画に基づき平成3年12月工事に着手した。 平成4年12月完成に向けて建設を進めているが、さらに緊急通信無線網の完成(6年度)が期待されている。 1階 環境防災課 2階 電算管理課

教 育 費

事業名	事業の概要	事業費
大成荘改築	敷地面積 14,237㎡ 延床面積 2,816㎡ (構造)鉄筋コンクリート造2階建 (一部3階建) (用途)林間施設(宿泊施設) (客室)20室(個人棟10室 団体棟10室)	59,270千円 。財源内訳 地方債 21,400 一般財源 37,870 3～4年度 債務負担行為 。全体事業費 1,369,041千円
乗鞍高原日野山荘新築	敷地面積 3,554㎡ 延床面積 1,392㎡ (構造)鉄筋コンクリート造2階建 (主要施設)客室10室、食堂、 浴室、研修室、ロビー	467,815千円 。財源内訳 都補助金 17,600 地方債 191,700 公共施設建設基金 100,000 一般財源 158,515 2～3年度 債務負担行為 。全体事業費 682,684千円

成 果
大成荘は昭和40年に建設されたが、老朽化により建替え問題が出されていた。このため、平成元年度基本計画、平成2年度実施設計に基づき、平成3年9月に着工、平成4年度に完成をめざして順調に工事が進められている。 子供たちを中心とするグループとともに、市民も利用できる施設としてその完成が待たれている。
一般市民向けの保養施設として計画された「乗鞍高原日野山荘」は、元年度の基本計画・実施設計に基づき、平成2年5月に工事着手、平成3年6月に完成した。 余暇時代を迎え、市民生活をより豊かにする施設として多くの市民に利用されている。

完成・オープンした乗鞍高原日野山荘

事業名	事業の概要	事業費
乗鞍高原日野山荘運営	豊かな市民生活を実現するための宿泊施設として平成3年7月20日供用を開始した。 定員 50人 休業日 毎月第3火・水曜日 (8月を除く)	61,185千円
第一小学校校庭整備	校庭舗装 5,313㎡ 歩道舗装 812㎡ 集水桝 9ヶ所 浸透桝 3ヶ所 砂場、鉄棒、ジャングルジム設置	50,305千円
第二小学校校舎内部改修	4階床(284㎡)及び3階天井(303㎡)改修 照明器具取替 64台	20,291千円
第二小学校給食室改修	給食室、配膳室、食品庫の改修 廃油置場用フェンス設置 電気・給排水・換気設備改修	60,667千円

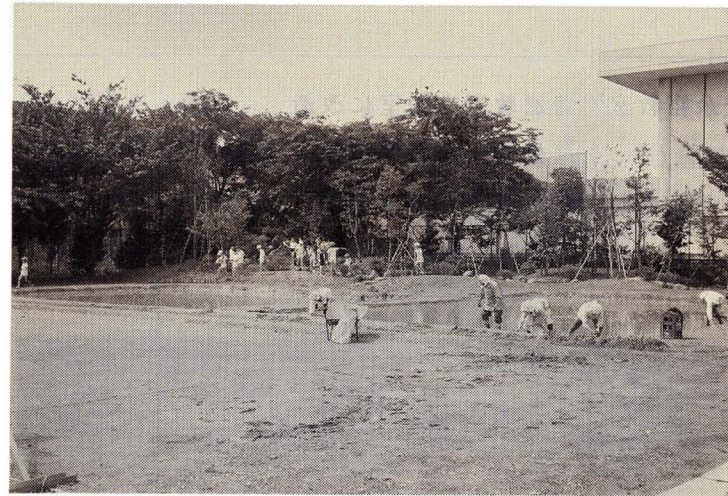
成	果								
北アルプス南端乗鞍岳の麓に広がる標高 1,500メートルの高原に位置し、雄大な景観に調和した落ちつきのある施設と、行き届いたサービスが市民より好評をえている。									
利用実績	<table> <tr> <td>大人</td><td>4,075人</td></tr> <tr> <td>子供(小学生)</td><td>553人</td></tr> <tr> <td>幼児</td><td>446人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>5,074人</td></tr> </table>	大人	4,075人	子供(小学生)	553人	幼児	446人	合 計	5,074人
大人	4,075人								
子供(小学生)	553人								
幼児	446人								
合 計	5,074人								
校庭は一定の年数が経過すると排水不良、表土の荒れ等で使用上支障が生ずるため、集水桝・浸透桝を設置し、緑石スクリーニングスによる全面舗装改修を行った。同時に、児童の登下校等による校庭の荒れをなくし、玄関への土砂の流入を防ぐため歩道を設置した。									
平成2年度に外壁、窓枠等の外部改修を実施したが、校舎内部についても経年劣化により床、天井等の汚れが著しいため、床と天井を張り替え、照明器具を取り替えることによって教育環境の整備を図った。									
昭和44年に建築され、老朽化が著しい給食室内及び給排水衛生設備について改修し、保健衛生、労働安全の確保を図った。 2小の改修を皮切りに、今後順次給食室を改修していく予定である									

事業名	事業の概要	事業費
第三小学校大規模改造	建具改修（スチール→アルミ） 暖房・換気設備改修 外壁・室内改修 給排水衛生設備改修 電気設備改修	149,535千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 24,285 都補助金 400 公共施設建設基金 100,000 一般財源 24,850
第五小学校屋内運動場大規模改造	建具改修（スチール→アルミ） 外壁改修 床改修 内部塗装改修 電気設備改修	49,759千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 11,495 都補助金 2,900 一般財源 35,364
潤徳小学校校舎内部改修	建具・家具改修 床・壁改修 電気設備改修	23,227千円
百草台小学校給水管改修	A棟給水設備改修 屋外給水設備改修 消火栓設備改修	15,656千円

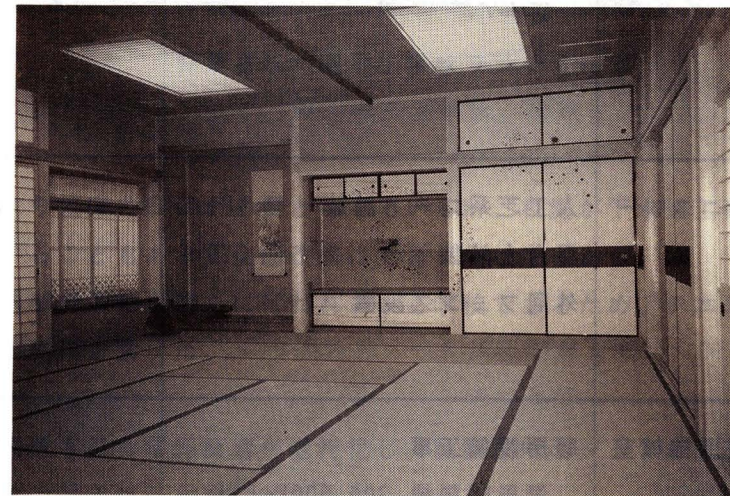
成 果
昭和41～42年度に建築された北校舎は、建築後20年以上が経過し老朽化が著しいため、大規模改造を実施し教育環境の整備を図った。 平成3年度から3年計画で実施する予定である。
昭和45年に建設された体育館は、老朽化が進み、外壁の汚れ、窓枠建具の腐食、ステージ床の虫食いなど改修が必要な状況にあるため、大規模改造を実施し、施設維持・安全確保を図った。 平成2年度の校舎の改築、平成3年度の体育館の改造によって、教育環境は一層充実された。
校舎内装の経年劣化が著しく、教室内部や廊下の床、壁、天井等に汚れや破損がみられた。また、照明器具の劣化による照度不足など授業に影響が出る教育環境であったため、内部改修を実施することによってこれらの解消を図った。
埋設給水管及び一部P.S内縦管に著しい腐食がみられ、漏水が発生していた。 当該小学校の土壌は電位差が大きく埋設管が腐食しやすい状況にあるため、露出配管で改修を実施した。

（教 育 費）

事業名	事業の概要	事業費
生活科整備	東光寺小学校 飼育舎新設 (ログハウス工法9.99㎡) 給排水設備工事	4,171千円
	仲田小学校 野外観察用テーブル・イス新設 (檜材、5基) 砂場・池の新設(各1ヶ所) 給排水設備工事	2,987千円
	南平小学校 田んぼ、築山、あっため池の新設・植栽 給排水設備工事	3,440千円
	百草台小学校 飼育舎新設(A)コンクリートブロック造 3.33㎡ " (B) " 6.29㎡ 給排水設備工事	2,884千円
	平山小学校 普通教室を「生活科室」に改造 床、壁等の塗装及び 展示棚の設置	2,935千円

成果
平成元年3月の学習指導要領の改定によって、小学校低学年を対象に体験学習を重視した『生活科』が平成4年4月から新設されることになった。このことによって、頭で学ぶだけでなく、身近な社会や自然を観察したり、動植物を育てたりする活動を通して、体全体で学ぶことの大切さが重視されることになった。 既に設置済の2校(5小、平山台小)を除く18校について、3年計画で実施する予定であるが、初年度分として6校を実施した。

南平小学校校庭の一角にできた田んぼ

事業名	事業の概要	事業費
	三沢台小学校 飼育舎新設 (ブロック造 2m×4.2m) 砂場新設 (合成ゴム材枠 5m×6m) 畑新設 (4m×25m) 給排水設備工事	3,460千円
高幡台小学校余裕教室活用	普通教室を和室に改造 24畳 (畳敷・床の間設置・建具の改修)	8,240千円

成 果
余裕教室活用検討委員会の報告に基づき、学校教育を質的に充実すると共に、家庭や地域との「生き生きとした関係」を作るために、余裕教室の活用を図った。 当該学校区は団地内であるため、日頃馴染みが薄い和室に改造することによって、日本の伝統的な生活様式・文化を体得する機会を作った。

余裕教室を改造した和室

事業名	事業の概要	事業費
ランチルーム整備	第八小学校 建具改修・天井張替 室内全面塗装 電気設備工事	4,377千円
	南平小学校 建具改修・天井張替 室内全面塗装 電気設備工事	5,150千円
	ランチルーム備品設置 第三小・第八小・滝合小・高幡台小	5,891千円
第二中学校テニスコート設置	人工芝系コート舗装 1,181㎡ 混合土舗装 570㎡ 外周フェンス設置	26,265千円
第二中学校暖房機械室改修	暖房設備工事 温風暖房機 300,000Kcal/H 1基 電気設備工事 動力制御盤一面 内外部改修	33,939千円

成果
平成元年度よりランチルーム用備品の購入、2年度より普通教室をランチルームに改造してきたが、3年度も全体計画に基づき、4校分の備品購入、3校の改造を実施した。なお、第三小学校は、大規模改造の中で整備した。
 整備された南平小学校ランチルーム
経年劣化により校庭の改修が必要となっているが、校庭が下水道工事の仮設場所に予定されていることもあって全面改修はできない状況にある。 当校はテニス部の活動が盛んに行われている学校であるため、テニスコートの設置を中心にその整備を図った。
昭和41年に設置された暖房設備が老朽化し、機械室内のダクトが落下するような状態にあるため全面改修を実施した。

事業名	事業の概要	事業費
第四中学校外壁等改修	外壁改修 弾性アクリルタイル吹付 屋上防水改修 ウレタン塗膜防水 パラペット改修 アルミ笠木・アルミスパンドレル取付	63,839千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 8,962 都補助金 2,200 一般財源 52,677
七生中学校屋内運動場 大規模改造	建具改修（スチール→アルミ） 外壁改修 ALC版に張替後アクリル弾 性タイル吹付 床改修 既存撤去のうえイタヤフロー リング張り 内部塗装 電気・給排水設備工事	64,169千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 15,470 都補助金 3,900 一般財源 44,799
市立中学校パソコン設 置及び教室整備	設置及び整備校 一中、二中、大坂上中 設置台数 各校21台 整備個所 床改修（OAフロアカーペット敷）・ 壁塗装・天井改修・ホワイト ボード設置 電気設備工事 冷暖房設備工事	88,683千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 8,281 一般財源 80,402

成 果
屋上パラペット部分のモルタルが劣化、亀裂が生じ雨漏りの恐れが出たため屋上 防水改修工事を行い、併せて外壁改修工事を実施した。
昭和41年に建設された体育館は老朽化が著しいため、今後の施設維持、安全確保 を図るため全面改修を実施した。
学習指導要領が改訂され平成5年度より中学校の技術家庭科にコンピュータ授業 が取り入れられることになったため、これに必要な整備を行った。 この整備事業は、平成2年度に2校、3・4年度に各々3校ずつ実施することに よって完了する。

事業名	事業の概要	事業費
平山中学校食堂新築	鉄筋コンクリート造平屋建 453.43㎡ 電気設備工事 給排水、衛生、ガス設備工事 冷暖房換気設備工事	182,930千円 ・財源内訳 国庫補助金 27,379 公共施設建設基金 100,000 一般財源 55,551
第四幼稚園廊下等改修	廊下（外壁・内装・天井）改修 建具改修（スチール→アルミ8ヶ所） 廊下北側庇新設	7,468千円

成果
中学校給食施設整備計画の中で最後となった平山中学校食堂棟新築工事を実施した。 このことによって、全ての中学校に食堂を備えた給食施設が整備された。

利用の始まった平山中学校食堂
経年劣化により汚れ等が著しいため、廊下を中心に改修を行った。

事業名	事業の概要	事業費
環境副読本作成	水と緑の美しいまちづくりを目指し、①自然をいつくしむ心や環境を大切にする心を育てること。②環境保全への行動力や環境観を高めること。③よりよい環境づくりを推進することの3つの柱により小・中学生を対象とする環境副読本「美しいまち日野」を作成した。	6,805千円
「自然体験広場」開設	仲田緑地旧桑園跡地を国より借用し、キャンプ場を開設した。 期間 …… 平成3年7月21日～8月25日 面積 …… 7,300㎡ 施設内容 …… テント10張、流し場、かまど場、仮設トイレ、ファイヤー場	4,422千円

成

果

児童・生徒に配布し、これを授業等で活用することにより、児童・生徒が環境を大切に守り、日野市がいつまでも美しいまちであるよう、その環境の保全・改善に積極的に参加する意欲を身につけるとともに、環境問題について基本的な認識を高めるなど、環境教育への整備ができた。

- ・小学校 : B 4 版、44ページ
3 ～ 6 年生に配布
- ・中学校 : B 4 版、60ページ
1 ～ 3 年生に配布

身近で自然に親しめるキャンプ場として好評であった。

利用団体では、子ども会だけでなく、学校のクラスキャンプ、保育園や学童クラブの父母会主催キャンプなど幅広く利用された。

利用者数	宿泊キャンプ	20団体	875人
	日帰りキャンプ	23団体	779人

A black and white photograph showing a group of children and adults gathered around a tent in a wooded area. The children are standing in a line, looking towards the tent. The tent is a simple A-frame structure. In the background, there are trees and a building. The ground is dirt and grass.

テントが張られた自然体験広場

事業名	事業の概要	事業費
「野外活動の手引」作成	子ども会等の指導者向けに具体的に例示した手引書を作成した。	670千円
公民館ホール防音等	- ホール防音サッシ改修 3ヶ所 - 渡り廊下新設 27.1㎡ - 談話室内装改修 (床・天井・壁) - 談話室・事務室照明設備改修	6,232千円
ふるさと博物館企画展 「日野と養蚕」	期 間 7月21日～8月30日 展示内容 養蚕成就願いほか 80点 講演会 「カイコ養い今と昔」 講 師 荒 井 一 「絹の新しい利用法」 講 師 平 林 潔 体験学習会 「糸取り」 「繭人形作り」 観覧者数 1,988人	3,835千円
百草台児童図書館冷暖房機設置	天吊型・ツインタイプ 2台	2,925千円

成 果
市内の子ども会育成者、青少年リーダー等に配布。 わかりやすい内容により好評を得、青少年育成に役立った。 ページ数 98ページ 印刷部数 2,000部
平成元年度の改修工事により、施設機能が向上し、市民の自由な交流の場、文化創造の場、人間形成の場として、大いに活用されているが、今回の工事により更に快適かつ活発な市民活動が展開されるようになった。
日野はかつて、多摩地域でも繭の出来高が上位を争うほど盛んであったにもかかわらず、世代の交代と共に忘れ去られようとしている。そのような日野の養蚕を16の切口（多摩における日野の養蚕、桑の品種、蚕品種の改良と変遷、日野の蚕種生産、養蚕信仰など）から紹介し、郷土理解の一助とした。これと合わせて約500匹分の卵を3回に分けて孵化させた。家蚕（カサン）と天蚕（てんさん）45匹を博物館の入口で飼育し、来館者にそれぞれの特徴と成長の違いを観察出来るようにした。
百草台児童図書館に、冷暖房機を設置したことにより、読書環境の改善が図られた。

（教 育 費）

事業名	事業の概要	事業費
図書館管理システム (電算)更新	導入機種(賃借) 中央処理装置 ACOS3300/8N 1台 磁気ディスク装置 N2012-17 7台 ページプリンタ N7383-36 日本語ラインプリンタ KLP240C-BC 日本語カラーシリアルプリンタ N5273-12 8台 オフィスプロセッサ S3100/X5FD S3100/X5 25台 マルチハンドスキャナ MR-3202 3台 ペンスキャナ 919-12 16台 ポータブルターミナル N6919-46B 13台	17,337千円
「ひのふるさと歳時記」刊行	A4版 多色刷 120ページ 写 真 310枚 イラスト 14枚 グ ラ フ 2表 歳時記編 日野事典抄 印刷部数 6,000冊	8,658千円

成 果
昭和61年度に図書館資料貸出管理システムとして導入した機種が、資料情報の増加〔視聴覚(AV)資料、蔵書数、端末機の増設等〕により処理能力に限界が生じてきたため、1ランク上の機種に更新し、処理能力のレベルアップを図った。 又、端末機(オフィスプロセッサ)の増設により図書貸出、返却手続きの短縮、蔵書確認等の迅速な処理が可能となり、利用者サービスの拡大、向上が図られようになった。
図書館では、郷土資料の収集、情報の提供を積極的に行い、これらの資料は、いつでも市民が利用できるようになっている。 市民の郷土に関する関心は深く、図書館への問い合わせの多さから、日野市の歴史、自然、風俗等をわかりやすくまとめた冊子の必要性から、平成元年度より3ヶ年計画で編集作業をすすめ、今年度完成した。 市民が、この冊子を利用することにより、より一層、郷土に関心と愛着をもつものと期待される。 ・有料頒布 800円/冊 ・成人式等での無料頒布も予定

事業名	事業の概要	事業費
第四中学校屋外運動場 照明設備設置及びクラブハウス新築	- 照明設備新設 14mコンクリート柱 6基 1,000Wメタルハライド投光器 8灯×6基 - 電撃殺虫器 6基 - クラブハウス新築 - コンクリートブロック造平家建 - 管理員室 7.98㎡ - 男女更衣室 8.25㎡ - 男女便所 4.04㎡ - 倉庫（Ⅰ） 7.98㎡ - 倉庫（Ⅱ） 5.65㎡ - 建築面積 33.90㎡	44,290千円 - 財源内訳 - 国庫補助金 5,600 - 都補助金 9,634 - 一般財源 29,056
浅川スポーツ広場整備	整備面積約10,000㎡ 大字宮399番1 土留 フェンス	38,110千円

成 果
市民のスポーツ・レクリエーション熱が高まる中で、身近な体育施設として既存の学校体育施設の果たす役割は大きい。一般市民とりわけ、勤労青壮年層のスポーツ・レクリエーション活動の場を拡大するため、第四中学校校庭に、夜間照明設備と、クラブハウスを新設した。これにより、一中、二中、七生中、三中、四中の整備が完了した。
浅川スポーツ広場は、農林水産省淡水区水産試験場跡地の一部約10,000㎡を大蔵省関東財務局より借り受け、市民の健康保持及び体力増進と、スポーツ・レクリエーションの機会を提供するため、多目的スポーツ広場として整備した。

事業名	事業の概要	事業費
渡し船（日野かわせみ号）購入	市民プール利用者用、特に南平、平山方面の利用者の便のために設置されている。 「駒形の渡し」の渡し船を買替えた。 ◦ 木造船 ◦ 全長 5.5m ◦ 幅 1.4m ◦ 6人乗り	800千円

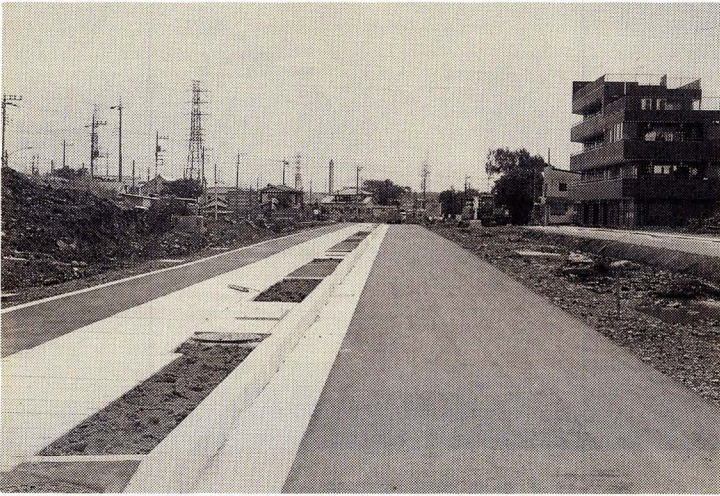
成 果
昭和54年より「駒形の渡し」として市民に親しまれて来たが、台風で流されたりしていたみが激しくなったため買替えたものである。購入にあたりFRP製から木造にしたことにより以前に増して市民に親しまれるようになった。 ◦ 平成3年度利用者数 5,640人

進水式の「日野かわせみ号」

土地区画整理事業特別会計による事業

土地区画整理事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
万願寺土地区画整理	工事、補償等 (施行面積127.2ha)	3,451,099千円 ・財源内訳 国庫支出金 532,500 都支出金 418,500 保留地処分金 2,213,187 その他 8,979 一般財源 277,933 ・全体事業費 33,757,000千円
豊田南土地区画整理	換地業務、工事、補償等 (施行面積87.1ha)	1,381,960千円 ・財源内訳 国庫支出金 50,600 都支出金 99,700 その他 153 一般財源 1,231,507 ・全体事業費 39,760,800千円

成 果
都市計画道路の築造、建物の移転等を実施した。 都市計画道路築造 W = 22m L = 338.41m 区画街路築造 W = 4~9m L = 861.46m 水路築造 W = 0.6~0.8m L = 63.1m 建物移転 100棟

都市計画道路 日野3・4・8号線(その2)築造工事
換地計画、区画道路築造及び建物移転等を実施した。又、仮換地案の第2回供覧及び仮換地のお知らせを行った。 区画道路築造 W = 6m L = 449.1m 建物移転 1棟 事業用地取得 2,663.65㎡

事業名	事業の概要	事業費
高幡土地区画整理	工事、補償等 (施行面積16.8ha)	171,038千円 { 都交付金を含む執行額 } 762,401千円 ・全体事業費 5,580,000千円
万願寺第2土地区画整理	事業認可後の諸業務 (施行面積46.4ha)	489,045千円 { 都交付金を含む執行額 } 567,465千円 ・全体事業費 21,000,000千円
西平山土地区画整理	事業認可前の諸業務 (施行面積91.4ha)	3,838千円

成 果
区画街路の築造、建物の移転等を実施した。 区画街路築造 W = 3 ~ 6 m L = 770.07 m 水路築造 W = 6 m L = 129.50 m 建物移転 19棟

区画街路築造第8号工事
事業計画決定に伴う説明会を開催した。 また、地区内の上水道配水管網図を作成するとともに、事業用地として、1,336.73㎡を取得した。 ・事業認可公告 平成3年5月21日
事業計画案の事前協議及び縦覧を行うとともに、権利調書を実施した。

事業名	事業の概要	事業費
西平山土地区画整理 事業立体換地方策調査	立体換地の検討業務	11,639千円 ・財源内訳 { 国庫支出金 4,400 都支出金 1,800 一般財源 5,439
東町土地区画整理	事業認可前の諸業務 (施行面積34.5ha)	5,327千円
日野駅前まちづくり調査	日野駅前整備のための調査	9,682千円
組合等施行地区助成	組合施行の土地区画整理事業に対する技術指導等事業費助成	45,000千円

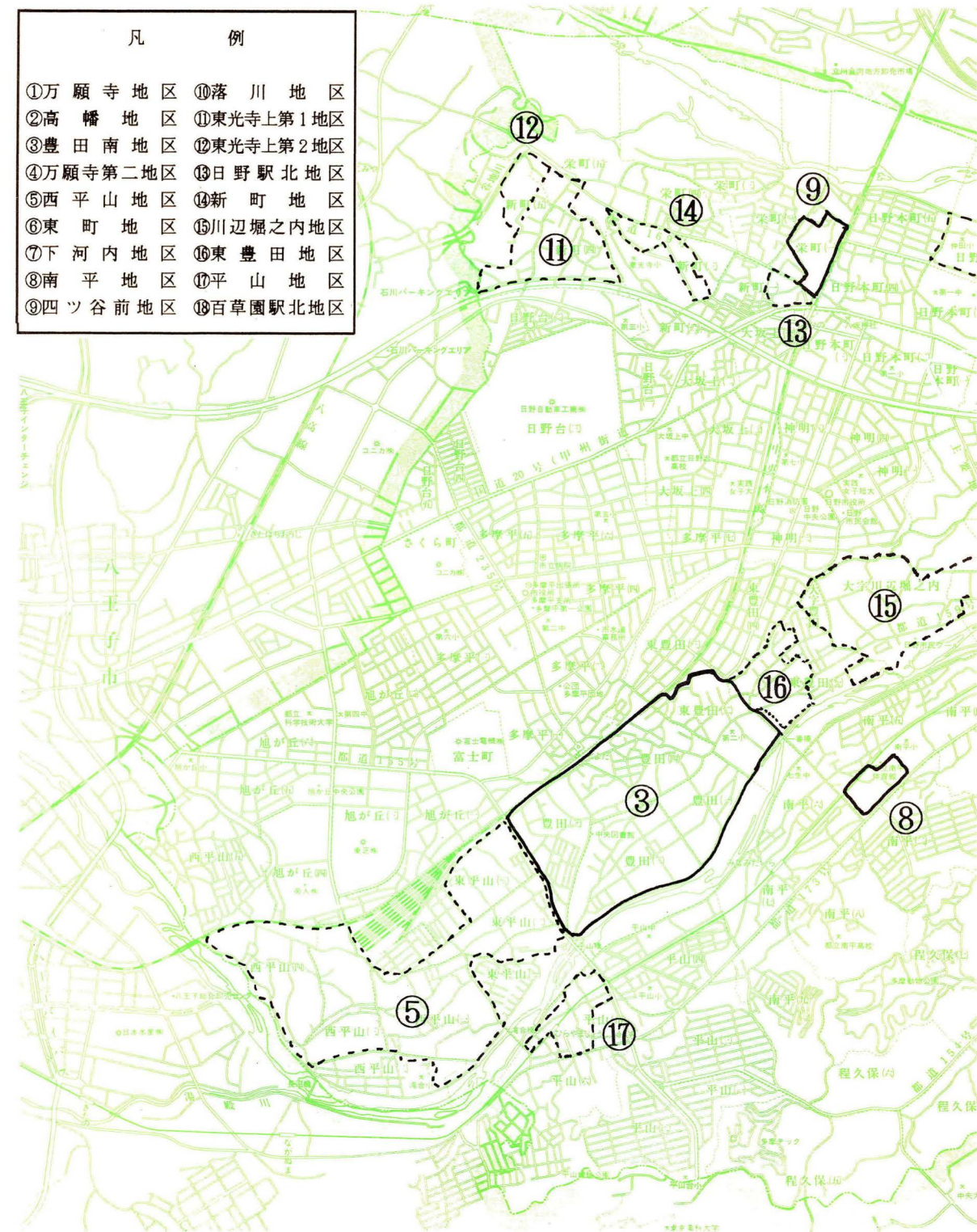
成	果
	立体換地手法による集約換地手法の実施の可能性について、調査・検討を行った。
	施行区域、都市計画公園の都市計画決定を行うとともに、平成4年度の事業認可へ向けて、事業計画の作成及び地区界確定作業を行った。
	日野駅前及びその周辺の区画整理事業の位置づけと、総合的なまちづくりの方向づけを行うための調査を実施した。
	事業の実施地区及び計画地区に対して技術援助を行うとともに、南平土地区画整理組合に30,000千円、四ツ谷前土地区画整理組合に15,000千円の助成を行った。 ・実施地区 南平土地区画整理 四ツ谷前土地区画整理 下河内土地区画整理(平成3年9月換地処分の公告) ・計画地区 落川地区 東光寺上第1地区 東光寺上第2地区 日野駅北地区 新町地区 川辺堀之内地区 東豊田地区 平山地区 百草園駅北地区

(土地区画整理事業特別会計)

土地区画整理事業箇所

凡 例

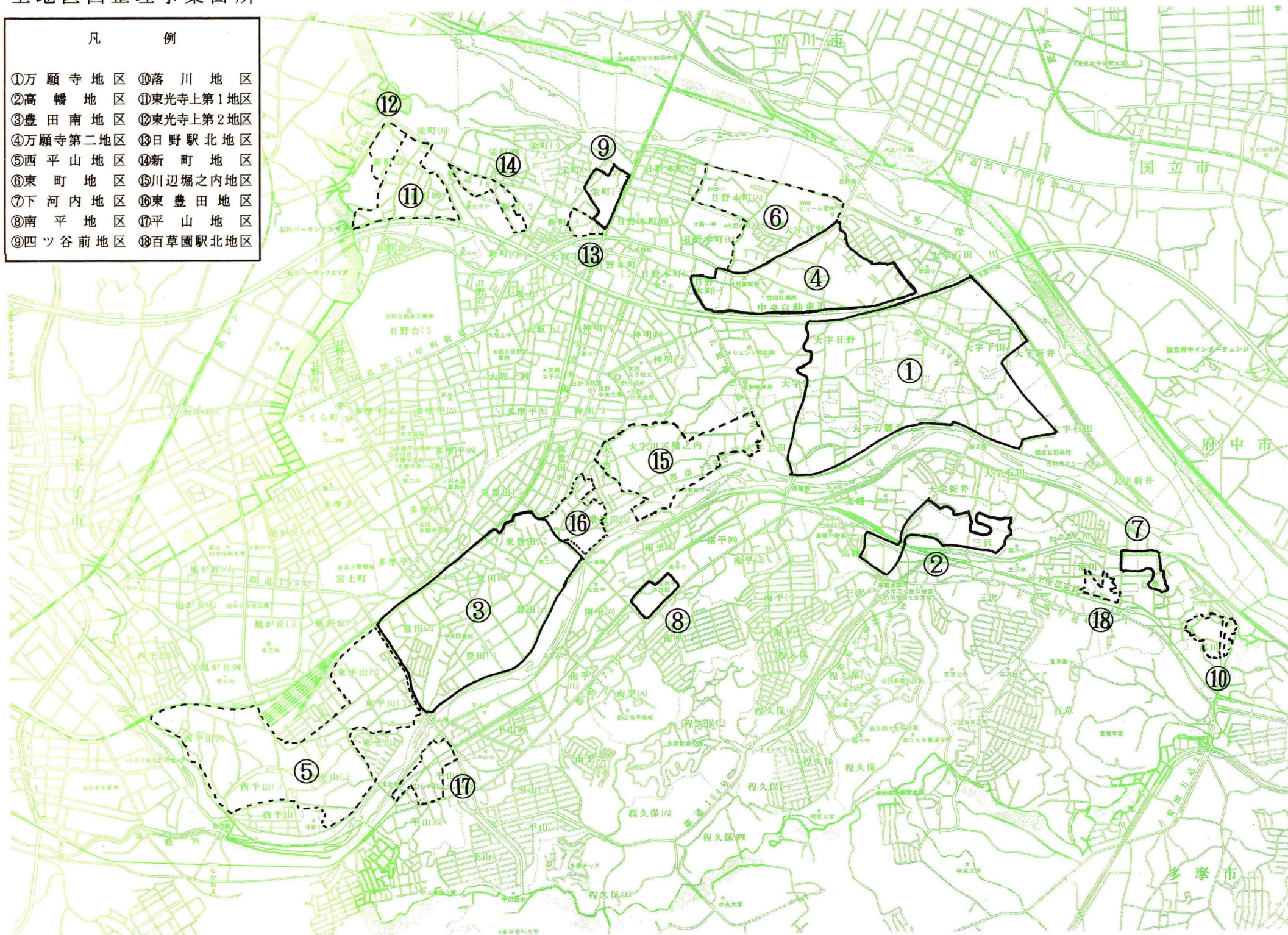
- | | |
|----------|-----------|
| ①万願寺地区 | ⑩落川地区 |
| ②高幡地区 | ⑪東光寺上第1地区 |
| ③豊田南地区 | ⑫東光寺上第2地区 |
| ④万願寺第二地区 | ⑬日野駅北地区 |
| ⑤西平山地区 | ⑭新町地区 |
| ⑥東町地区 | ⑮川辺堀之内地区 |
| ⑦下河内地区 | ⑯東豊田地区 |
| ⑧南平地区 | ⑰平山地区 |
| ⑨四ツ谷前地区 | ⑱百草園駅北地区 |



土地区画整理事業箇所

凡 例

- | | |
|----------|-----------|
| ①万願寺地区 | ⑩落川地区 |
| ②高幡地区 | ⑪東光寺上第1地区 |
| ③豊田南地区 | ⑫東光寺上第2地区 |
| ④万願寺第二地区 | ⑬日野駅北地区 |
| ⑤西平山地区 | ⑭新町地区 |
| ⑥東町地区 | ⑮川辺堀之内地区 |
| ⑦下河内地区 | ⑯東豊田地区 |
| ⑧南平地区 | ⑰平山地区 |
| ⑨四ツ谷前地区 | ⑱百草園駅北地区 |



下水道事業特別会計による事業

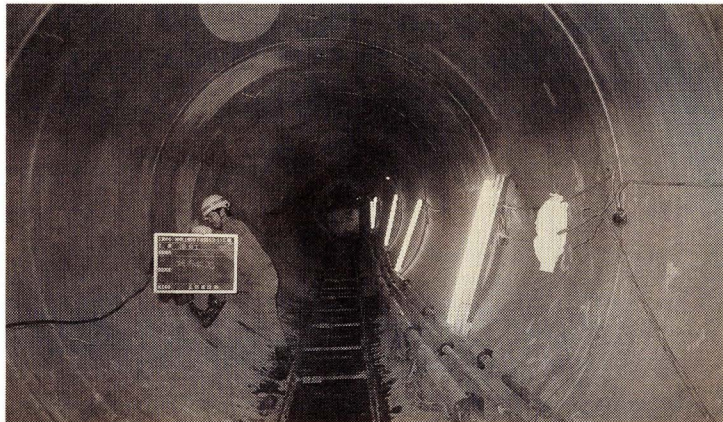
下水道事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
公共下水道事業	。管渠建設（污水） 〔南多摩処理区〕 管渠埋設 ◎250mm L = 69m 整備面積 0.49ha 〔浅川処理区〕 管渠埋設 ◎250～900mm L = 9,879m 整備面積 48.62ha 実施設計 L = 7,630m 。東京都新都市建設公社委託 管渠埋設 ◎250～1,500mm L = 5,685m 整備面積 22.09ha 〔秋川処理区〕 管渠埋設 ◎250～800mm L = 1,767m 整備面積 24.44ha 実施設計 L = 1,500m 。管渠建設（雨水） 〔豊田排水区〕 豊田排水桶管設置 2.35m×4.0m×15.9m×1連 ◎4,000×2,350mm L = 37m 仮排水路設置 L = 96m 実施設計 L = 370m	4,234,433千円 。内訳 污水：南多摩処理区 28,406 浅川処理区 3,444,459 秋川処理区 575,478 雨水：豊田排水区 186,090 。財源内訳 国庫補助金 919,500 都補助金 61,568 地方債 1,719,200 一般財源 1,534,165

成果
流域関連公共下水道として昭和57年度から事業を実施。 污水事業については、市内を南多摩・浅川・秋川の3処理区に分け整備を進めている。 南多摩処理区は、昭和57年度に事業着手して以来、当面の重点区域として整備を進め、ほぼ全域を供用開始している。平成3年度は、若干の未整備区域の面整備を行った。 浅川処理区は、昭和59年度の事業認可以来、浅川右岸を中心に整備を進めている。平成4年度の供用開始を前に、本年度は大里幹線・寺ノ下幹線・七生幹線・百草台幹線・飛田幹線・若宮幹線の整備と、各処理分区の面整備を実施した。 また、東京都新都市建設公社に委託して、浅川左岸の万願寺土地区画整理地内・豊田南土地区画整理地内及び、浅川右岸の一部を整備した。 秋川処理区は、昭和60年度に認可を受け、平成4年度の供用開始に向け計画的に整備を進めている。平成3年度は、秋川中央幹線の整備を図るとともに、旭が丘・日野台地域の面整備を行った。 雨水事業については、本年度は豊田排水区（184.7ha）の下流部分を整備した。

豊田排水区管渠埋設

事業名	事業の概要	事業費
神明上都市下水路整備	管渠埋設 □2,700×2,700mm ◎2,800mm L = 116m	578,303千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 65,600 都補助金 34,440 地方債 29,500 一般財源 448,763
流域下水道建設負担金	〔南多摩処理区〕 南多摩処理場用地取得 5,497㎡ ポンプ場用地取得 315㎡ 〔浅川処理区〕 浅川処理場用地取得 15,807㎡ 浅川処理場、浅川幹線工事 〔秋川処理区〕 八王子処理場用地取得 17,442㎡ 八王子処理場、秋川幹線工事	1,778,572千円 ・処理区内訳 { 南多摩処理区 13,075 浅川処理区 1,286,168 秋川処理区 479,329 ・財源内訳 { 地方債 1,517,600 一般財源 260,972

成 果
神明上都市下水路は、日野駅周辺の浸水を解消するため昭和50年から整備を進めてきたが、平成3年度事業で完成した。延長1,408m、排水区域は神明、日野本町の大部分約195haである。  神明上都市下水路管渠埋設 流域下水道は、東京都が建設・管理し、関係各市町が負担金を支払う事業である。 南多摩処理区については、南多摩処理場用地の取得等を行った。 浅川処理区、秋川処理区については、平成4年度の稼働を目指し、処理場用地の取得、処理場の建設工事、幹線の埋設工事を行った。  流域下水道、浅川処理場

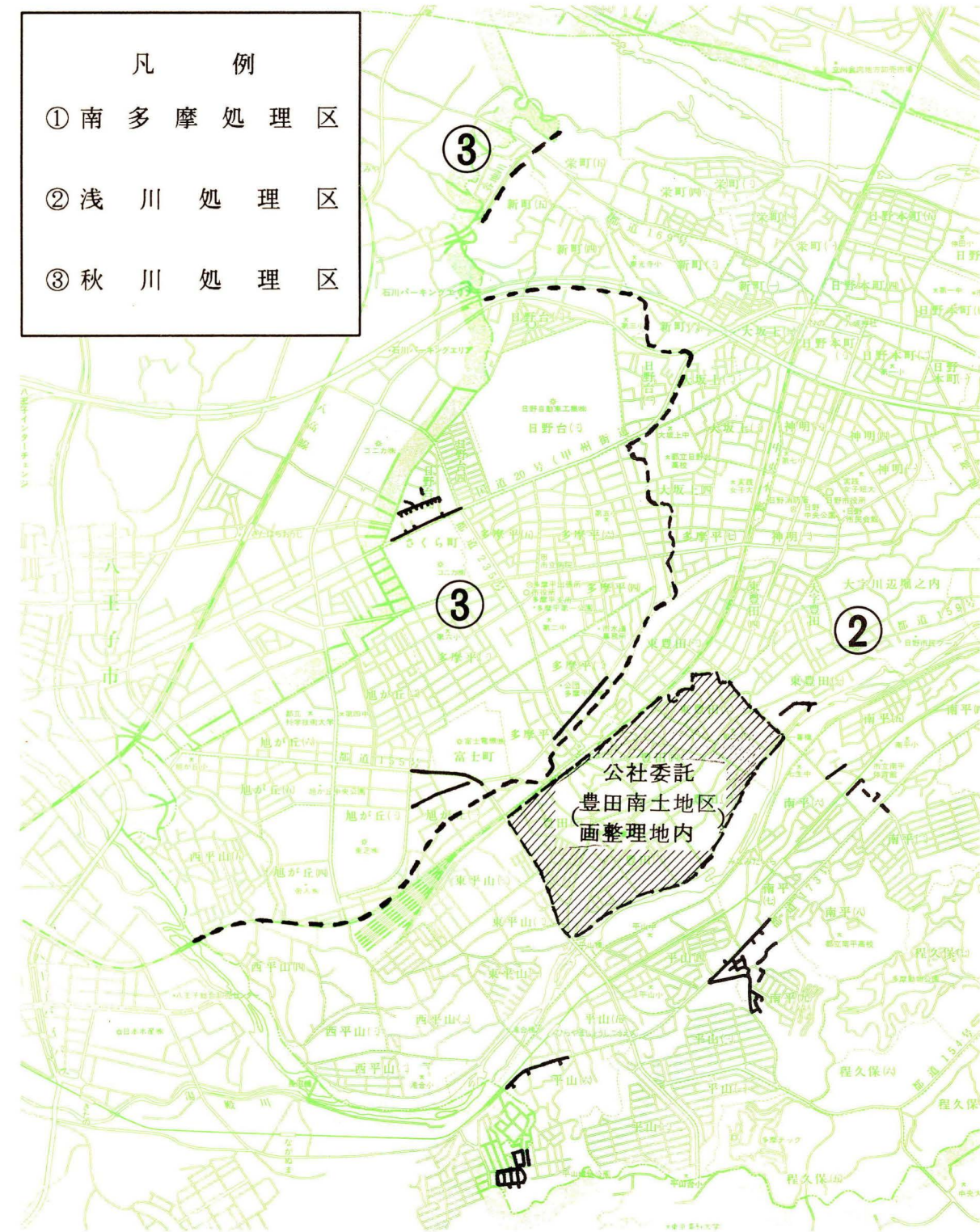
公共下水道事業箇所

凡 例

① 南 多 摩 処 理 区

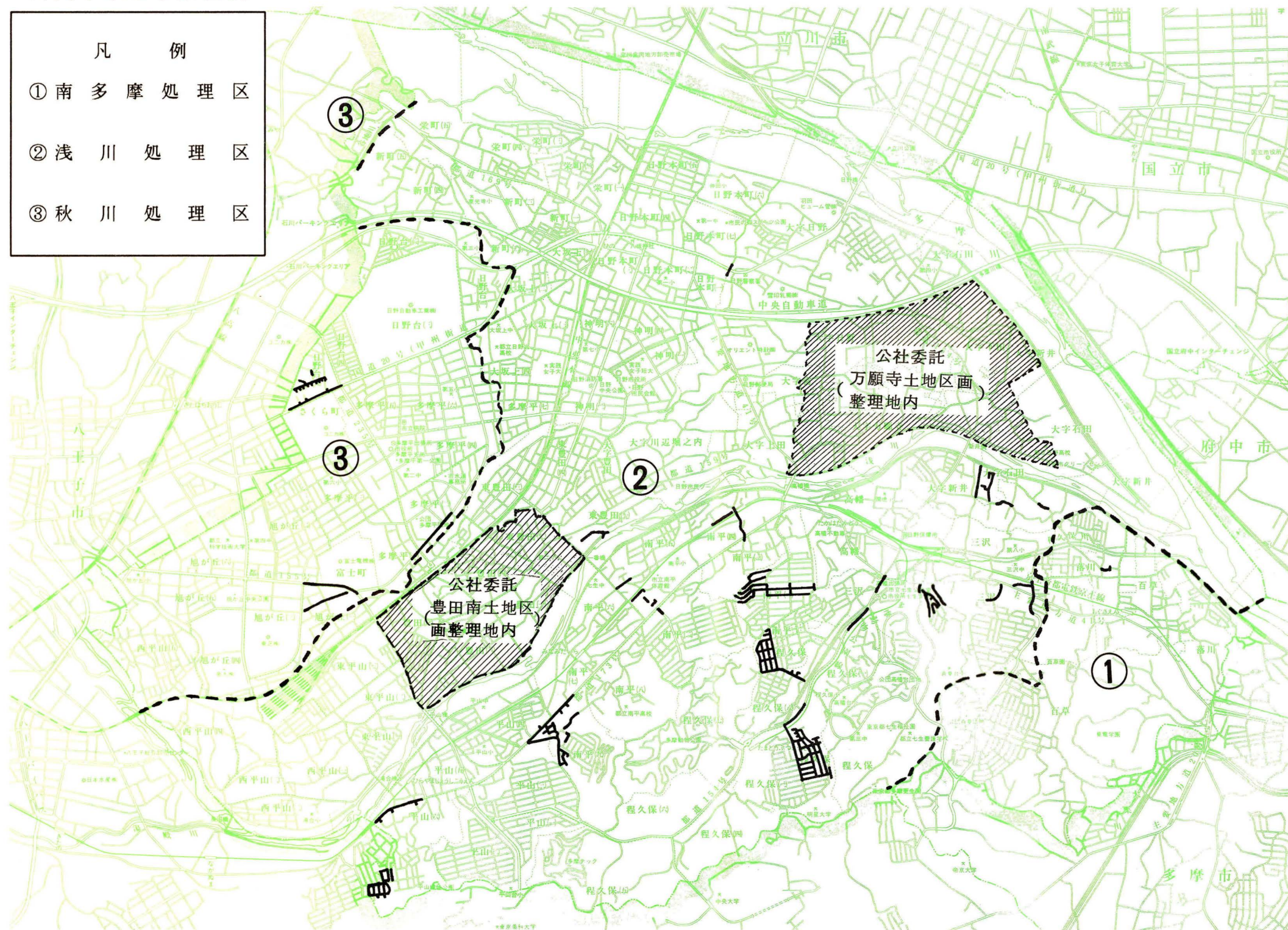
② 浅 川 処 理 区

③ 秋 川 処 理 区



公共下水道事業箇所

- 凡 例
- ① 南 多 摩 処 理 区
 - ② 浅 川 処 理 区
 - ③ 秋 川 処 理 区



市立総合病院事業会計による事業

市立総合病院事業会計

事業名	事業の概要	事業費
超音波診断装置購入	東芝 SSA-250A	6,695千円
関節鏡ビデオ装置購入	ストライカー MV578	4,929千円
膀胱尿導鏡セット購入	オリンパス A-2011	3,930千円
病理組織標本作成装置購入	マイルス三共 VP-100	2,987千円
外来棟廊下塗装	廊下部分の床張替等	3,141千円

成 果
今回購入した超音波診断装置は、送信フォーカスと受診フォーカスの相乗効果によって、画面が一層鮮明になり、フォーカスは画面の中央に正確に合致し表示範囲を移動させても自動的に追従していき、画像は最小4cmから最大24cmで、視野は8段階まで切りかえ可能であり、細いところを観察したい小児科や、深部まで診たい産科の検査にも対応可能となった。
関節鏡ビデオ装置は、約10年前より整形外科の分野では広く利用されているが、本院においては同装置が備わっておらず、他の病院から借り受けていた。今回導入したビデオ装置は、解像度470本という超高解像度で、関節等の部位の診療に極めて有効な機器となり、使用頻度も極めて高くなっている。
この膀胱鏡セットは高倍接眼レンズの導入により、光学系に比較し約1.6倍画面を拡大することができ、長時間の観察における目の疲労をやわらげることができる。又、検査効率を高め周辺までの歪みのないシャープな観察画面を供し、細かな観察鏡視下手術・写真撮影に威力を発揮している。
病理組織標本作成装置は、マイクロコンピュータ制御で、脱水、脱脂パラフィン浸透を自動的に行い、処理中のトラブルは自動的にチェックされるなど種々のアラーム機能がそなわっている。業務運営が効率的に行われるようになり、又、安全で衛生的な環境の維持できるようになった。
外来及び検査レントゲン等部門の廊下は床部分がよごれ、はく離等により安全衛生上従来より問題となっていた。今回の塗装により凹凸が緩和され明るくなり、患者、職員双方に良い環境となった。

事業名	事業の概要	事業費
病棟便所等改修	2階、3階病棟の改修 車イス使用者用の便所増設	15,192千円
男子更衣室等増設	男子更衣室の設置 清掃委託業者の休憩室の設置	1,637千円

成 果
2階、3階病棟における水もれ、冠水等の修理は職員で対応していたが、対応しきれなくなったので今回改修の運びとなった。今まで車イス使用者用の便所は外来にしかなく、入院患者の方々には大変不便をかけていたが、今回の増設により一応の成果はみられた。また洗面所に給湯を設置し、冬期の洗面に対応できるようになった。
男子更衣室、清掃委託業者の休憩室を設置した。これにより従来の男子更衣室、休憩室を看護婦更衣室にあてることができた。看護婦更衣室の狭小さは改善され、又、劣悪な環境にあった清掃委託業者（従事者）の環境も改善された。

受託水道事業特別会計による事業

受託水道事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
配水管新設等 (補助管改良含む)	南平一丁目33・52番地先間ほか 15件 F C D φ 75 ~ 350mm L = 3,897.8 m	272,117千円
区画整理地内水道施設 整備	万願寺・高幡・豊田・南平土地 区画整理地内 F C D φ 75 ~ 350mm L = 3,313.5 m	163,809千円
石綿管取替 (ソケット管含む)	程久保二丁目11~15番地先間ほか 5件 F C D φ 75 ~ 150 mm L = 7,236.6 m	412,421千円
導水管移設	多摩平一丁目5~11番地先間導 水管移設 F C D φ 200 mm L = 241 m	55,761千円
道路関連	多摩平一丁目5~14番地先間配 水管移設 F C D φ 75~150 mm L = 553.5 m	39,180千円
下水道支障移設	程久保二丁目11~15番地先間配 水管移設ほか20件 F C D φ 75~200 mm L = 4,539.9 m	304,680千円

成 果
配水管未布設地域及び配水管布設替えを実施し、安定給水に努めた。
土地区画整理事業区域内の水道施設の拡充整備を行った。
本工事により漏水事故防止並びに震災対策に努めた。
導水管整備により、より良い水の供給に努めた。
道路改修工事に伴い既設配水管の移設を行った。
下水道建設に伴う配水管整備をすることにより、安定した水の供給が出来た。

(受託水道事業特別会計)

事業名	事業の概要	事業費
消火栓関連	消火栓の新設及び移設 単口φ75mm 52基 双口φ100mm 1基	21,917千円
設備補修	日野台水源ほか施設改良整備	176,109千円
管種変更	程久保二丁目11～15番地先間配 水管管種変更ほか9件 FCDφ75～150mm L=2,143.5m	129,622千円
給水栓取付替	SSPφ20～50mm 305栓	78,968千円
他企業関連	栄町二丁目12～21番地先配水管 移設ほか5件 FCDφ75～150mm L=666.7m	51,782千円

成 果
消火栓の新設及び移設により消防水利の確保に努めた。
水源施設及び旭が丘浄水所施設・門扉整備を行い、安定給水と環境整備に努めた。
管種変更（口径変更）をすることにより、より良い水の供給、安定給水に努めた。
鉛管及び連合管をステンレス管に布設替えをすることにより、安定した供給ができた。
都住宅局等他企業の事業に伴い配水管を新設、漏水防止・水の安定給水に努めた。

平成 3 年度

配水管工事箇所



財政状況の資料

平成 3 年度 各会計別決算総括表

会 計 別	歳
	予 算 額
一 般 会 計	44,614,060,000
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	4,658,755,000
土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計	5,938,337,000
下 水 道 事 業 特 別 会 計	8,107,333,000
受 託 水 道 事 業 特 別 会 計	2,423,201,000
市 立 総 合 病 院 事 業 会 計	3,065,616,000
老 人 保 健 特 別 会 計	4,872,449,000
老 人 入 院 共 済 事 業 特 別 会 計	25,059,000
合 計	73,704,810,000

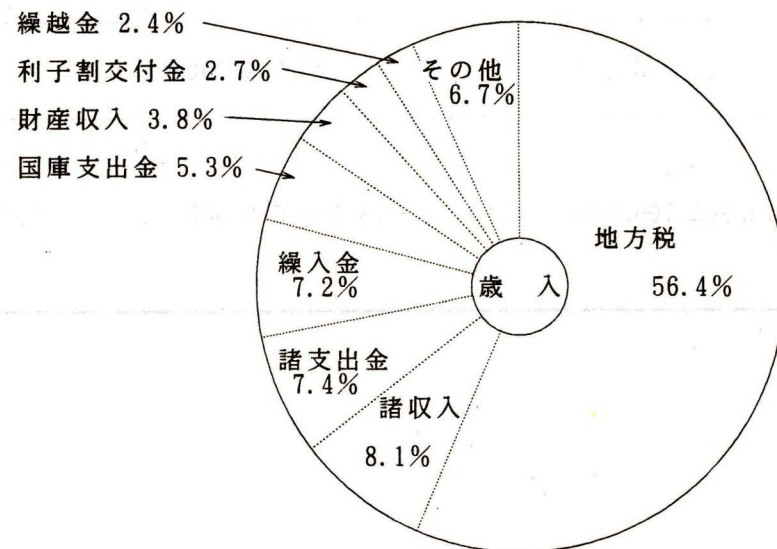
(単位：円)

入	歳 出	
決 算 額	予 算 額	決 算 額
44,859,570,990	44,614,060,000	44,170,147,225
4,732,780,267	4,658,755,000	4,503,318,638
5,798,450,911	5,938,337,000	5,632,667,342
8,110,078,335	8,107,333,000	7,955,656,395
2,406,402,006	2,423,201,000	2,406,402,006
3,139,015,463	3,151,379,000	3,127,568,650
4,832,452,364	4,872,449,000	4,763,323,150
24,955,869	25,059,000	23,326,591
73,903,706,205	73,790,573,000	72,582,409,997

平成3年度 決算額構成比（普通会計）

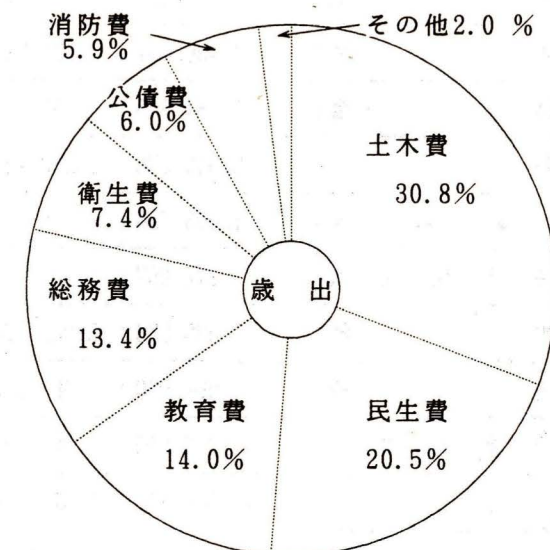
歳入

(区 分)	(決 算 額) 千円	(構 成 比) %
地 方 税	27,388,210	56.4
地 方 譲 与 税	833,715	1.7
利 子 割 交 付 金	1,323,171	2.7
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	961	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	630,888	1.3
地 方 交 付 税	31,083	0.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	37,403	0.1
分 担 金 及 び 負 担 金	316,256	0.6
使 用 料	562,187	1.2
手 数 料	132,268	0.3
国 庫 支 出 金	2,575,412	5.3
都 支 出 金	3,614,391	7.4
財 産 収 入	1,844,595	3.8
寄 附 金	95,615	0.2
繰 入 金	3,496,431	7.2
繰 越 金	1,184,505	2.4
諸 収 入	3,946,236	8.1
地 方 債	561,000	1.2
合 計	48,574,327	100.0



歳出

(区 分)	(決 算 額) 千円	(構 成 比) %
議 会 費	401,965	0.8
総 務 費	6,411,678	13.4
民 生 費	9,756,597	20.5
衛 生 費	3,523,931	7.4
労 働 費	202,959	0.4
農 業 費	134,062	0.3
商 工 費	218,109	0.5
土 木 費	14,691,719	30.8
消 防 費	2,816,204	5.9
教 育 費	6,678,597	14.0
災 害 復 旧 費	0	0.0
公 債 償 還 費	2,881,669	6.0
諸 支 出 金	0	0.0
合 計	47,717,490	100.0



収入の状況（普通会計）

（単位：千円）

区 分		平成 3			
		決 算 額 (A)	臨時的なもの (B)		差引経常的 なもの (A)-(B)
			特定財源	一般財源等	
1	地 方 税	27,388,210		1,478,019	25,910,191
2	地 方 譲 与 税	833,715			833,715
3	利 子 割 交 付 金	1,323,171			1,323,171
4	ゴルフ場利用税交付金				
5	特別地方消費税交付金	961			961
6	軽油・自動車取得税交付金	630,888			630,888
7	地 方 交 付 税	31,083		31,083	
8	交通安全対策特別交付金	37,403			37,403
9	分担金及び負担金	316,256			316,256
10	使 用 料	562,187		69,769	492,418
11	手 数 料	132,268		18,381	113,887
12	国 庫 支 出 金	2,575,412	778,558	143,900	1,652,954
13	国有提供施設等所在市町村助成交付金				
14	都 道 府 県 支 出 金	3,614,391	1,492,752		2,121,639
15	財 産 収 入	1,844,595	1,047,584	789,398	7,613
16	寄 附 金	95,615	95,615		
17	繰 入 金	3,496,431	2,573,021	923,410	
18	繰 越 金	1,184,505	95,102	1,089,403	
19	諸 収 入	3,946,236	2,232,128	1,114,613	599,495
内 訳	収 益 事 業 収 入	1,038,736		1,038,736	
	各 種 貸 付 金 元 利 収 入	212,267			212,267
	そ の 他	2,695,233	2,232,128	75,877	387,228
20	地 方 債	561,000	561,000		
	うち都道府県貸付金	227,000	227,000		
(歳 入 合 計)		48,574,327	8,875,760	5,657,976	34,040,591
歳 入 構 成 比 (%)		100.0	18.3	11.6	70.1

年 度				平成 2 年 度		
左 の 内 訳		決算額 構成比 (%)	決算額 増減率 (%)	決 算 額	左のうち経常一般 財 源 等	決算額構成比 (%)
特定財源	一般財源等					
	25,910,191	56.4	3.7	26,419,614	24,920,382	56.8
	833,715	1.7	7.1	778,574	778,574	1.7
	1,323,171	2.7	△28.9	1,860,589	1,860,589	4.0
	961	0.0	皆 増			
	630,888	1.3	△ 3.7	655,122	655,122	1.4
		0.1	3.5	30,035		0.1
	37,403	0.1	14.9	32,566	32,566	0.1
316,256		0.6	△15.2	373,139		0.8
439,407	53,011	1.2	12.9	498,142		1.1
113,887		0.3	7.6	122,896		0.3
1,652,954		5.3	△14.0	2,994,259		6.4
2,121,639		7.4	△ 2.6	3,712,244		8.0
2,402	5,211	3.8	30.0	1,419,105	14,136	3.0
		0.2	△58.8	232,332		0.5
		7.2	87.7	1,862,824		4.0
		2.4	△10.4	1,322,254		2.8
286,782	312,713	8.1	21.4	3,250,183	302,862	7.0
		2.1	△13.2	1,196,845		2.6
207,803	4,464	0.4	7.5	197,406	4,749	0.4
78,979	308,249	5.6	45.2	1,855,932	298,113	4.0
		1.2	△40.4	941,600		2.0
		0.5	△39.8	377,000		0.8
4,933,327	29,107,264	100.0	4.5	46,496,478	28,564,231	100.0
10.2	59.9			100.0	61.4	

市 税 の 徴 収 実 績

(単位:千円)

区 分 税 目 別	調 定 済 額				
	現年課税分 ④	滞納繰越分 ⑤	合 計 ⑥	標準税率 超過調定額 ⑦	⑥のうち徴収 猶予に係る調 定 済 額
一 普 通 税	26,001,849	748,909	26,750,758	372,396	24,851
1 法 定 普 通 税	26,001,849	748,909	26,750,758	372,396	24,851
(1) 市 町 村 民 税	17,553,964	590,008	18,143,972	372,396	
(イ) 個 人 均 等 割	124,619	4,938	129,557		
(ロ) 所 得 割	14,331,349	567,861	14,899,210		
上記のうち退職所得分	147,823		147,823		
(ハ) 法 人 均 等 割	240,163	1,335	241,498		
(ニ) 法 人 税 割	2,857,833	15,874	2,873,707	372,396	
(2) 固 定 資 産 税	7,624,668	149,627	7,774,295		24,851
(イ) 純 固 定 資 産 税	7,558,735	149,627	7,708,362		24,851
(a) 土 地	2,923,996	57,881	2,981,877		24,851
(b) 家 屋	2,717,278	53,789	2,771,067		
(c) 償 却 資 産	1,917,461	37,957	1,955,418		
(ロ) 交 付 金	65,933		65,933		
(3) 軽 自 動 車 税	61,854	4,863	66,717		
(4) 市 町 村 た ば こ 税	677,866		677,866		
(5) 鉱 産 税					
(6) 特 別 土 地 保 有 税	83,497	4,411	87,908		
(イ) 保 有 分	20,450		20,450		
(ロ) 取 得 分	63,047	4,411	67,458		
2 法 定 外 普 通 税					
二 目 的 税	1,481,487	32,635	1,514,122		9,939
1 入 湯 税					
2 事 業 所 税					
3 都 市 計 画 税	1,481,487	32,635	15,141,122		9,939
(1) 土 地	967,641	21,315	988,956		9,939
(2) 家 屋	513,846	11,320	525,166		
4 水 利 地 益 税					
5 共 同 施 設 税					
6 宅 地 開 発 税					
三 旧 法 に よ る 税					
合 計 (一～三)	27,483,336	781,544	28,264,880	372,396	34,790
国民健康保険税	1,669,263	254,696	1,923,959		
国民健康保険料					

収 入 済 額				徴 収 率 (%)				収入済額⑧ の対前年度 増減率 %
現年課税分 ④	滞納繰越分 ⑤	合 計 ⑥	標準税率超 過収入済額 ⑦	④ × 100 ④	⑤ × 100 ⑤	⑥ × 100 ⑥	前年度に おける徴 収率 ⑦ ⑦ × 100	
25,690,016	220,175	25,910,191	372,024	98.8	29.4	96.9	96.9	4.0
25,690,016	220,175	25,910,191	372,024	98.8	29.4	96.9	96.9	4.0
17,331,053	155,258	17,486,311	372,024	98.7	26.3	96.4	96.4	2.5
122,726	1,317	124,043		98.5	26.7	95.7	95.6	3.7
14,113,713	151,355	14,265,068		98.5	26.7	95.7	95.6	7.4
147,823		147,823		100.0		100.0	100.0	9.0
239,901	201	240,102		99.9	15.1	99.4	99.5	7.7
2,854,713	2,385	2,857,098	372,024	99.9	15.0	99.4	99.5	△16.8
7,537,987	62,007	7,599,994		98.9	41.4	97.8	97.8	7.3
7,472,054	62,007	7,534,061		98.9	41.4	97.7	97.8	7.3
2,890,464	23,986	2,914,450		98.9	41.4	97.7	97.8	9.3
2,686,117	22,290	2,708,407		98.9	41.4	97.7	97.8	5.5
1,895,473	15,731	1,911,204		98.9	41.4	97.7	97.8	6.8
65,933		65,933		100.0		100.0	100.0	10.2
59,613	1,580	61,193		96.4	32.5	91.7	92.2	2.1
677,866		677,866		100.0		100.0	100.0	△ 2.8
83,497	1,330	84,827		100.0	30.2	96.5	83.9	268.3
20,450		20,450		100.0		100.0	83.9	△11.2
63,047	1,330	64,377		100.0	30.2	95.4		皆 減
1,464,495	13,524	1,478,019		98.9	41.4	97.6	97.8	△ 0.8
1,464,495	13,524	1,478,019		98.9	41.4	97.6	97.8	△ 0.8
956,542	8,832	965,374		98.9	41.4	97.6	97.8	0
507,953	4,692	512,645		98.9	41.4	97.6	97.8	△ 2.3
27,154,511	233,699	27,388,210	372,024	98.8	29.9	96.9	96.9	3.7
1,585,729	69,273	1,655,002		95.0	27.2	86.0	85.6	6.0

支出の状況（普通会計）

区 分	平成 3			
	決 算 額 (A)	左のうち臨時的なもの(B)		差引経常的 な も の (A)-(B)
		特定財源	一般財源等	
1 人 件 費 (a)	10,223,758	15,190	17,258	10,191,310
2 物 件 費	7,167,033	43,394	886,150	6,237,489
3 維持補修費	536,674			536,674
4 扶 助 費	3,925,095			3,925,095
5 補助費等	4,551,458	28,748	1,668,424	2,854,286
内 (1) 一部事務組合に対するもの	201,991			201,991
訳 (2) (1) 以外のもの	4,349,467	28,748	1,668,424	2,652,295
6 公 債 費	2,881,610		52,413	2,829,197
内 (1) 元 利 償 還 金	2,881,610		52,413	2,829,197
訳 (2) 一時借入金利子				
7 積 立 金	2,169,568	1,105,815	1,063,753	
8 投資及び出資金・貸付金	347,828	77,000	36,771	234,057
9 繰 出 金	3,545,531	550,881	2,627,867	366,783
10 前年度繰り上げ充用金				
計 (1~10)	35,348,555	1,821,028	6,352,636	27,174,891
11 投 資 的 経 費	12,368,935	6,535,351	5,833,584	
うち人件費 (b)	225,393	12,938	212,455	
(1) 普通建設事業費	12,362,048	6,535,351	5,826,697	
うち単独事業費	10,979,450	5,334,131	5,645,319	
(2) 災害復旧事業費				
(3) 失業対策事業費	6,887		6,887	
歳 出 合 計	47,717,490	8,356,379	12,186,220	27,174,891
うち人件費 (a) + (b)	10,449,151	28,128	229,713	10,191,310
歳出構成比(%)	100.0	17.5	25.6	56.9

(単位：千円)

年 度					平成 2 年 度			
左 の 内 訳		決算額 構成比 (%)	決算額 増減率 (%)	経常収 支比率 (%)	決 算 額	左のうち経常 一般財源等	決算額 構成比 (%)	経常収 支比率 (%)
特定財源	一般財源等							
1,013,460	9,177,850	21.4	10.6	31.5	9,239,804	8,234,935	20.4	28.8
1,255,478	4,982,011	15.0	12.4	17.1	6,379,752	4,516,759	14.1	15.8
15,979	520,695	1.1	10.8	1.8	479,403	414,346	1.0	1.5
2,478,919	1,446,176	8.2	8.9	5.0	3,605,221	1,265,651	7.9	4.4
375,236	2,479,050	9.6	19.8	8.5	3,799,419	2,301,276	8.4	8.1
	201,991	0.5	23.4	0.7	163,709	163,709	0.4	0.6
375,236	2,277,059	9.1	19.6	7.8	3,635,710	2,137,567	8.0	7.5
84,399	2,744,798	6.1	△ 5.6	9.4	3,052,459	2,692,111	6.7	9.4
84,399	2,744,798	6.1	△ 5.6	9.4	3,052,459	2,692,111	6.7	9.4
		4.6	△42.8		3,793,937		8.4	
207,803	26,254	0.7	△ 0.6	0.1	349,921	28,368	0.8	0.1
21,434	345,349	7.4	40.7	1.2	2,520,191	279,109	5.6	1.0
5,452,708	21,722,183	74.1	6.4	74.6	33,220,107	19,732,555	73.3	69.1
		25.9	2.3	(20.0)	12,091,866		26.7	(21.4)
		0.5	1.1	(0.7)	222,845		0.5	(0.6)
		25.9	2.3	(20.0)	12,085,158		26.7	(21.3)
		22.6	16.1	(18.8)	9,298,077		20.5	(19.4)
				()				()
		0.0	2.7	(0.0)	6,708		0.0	(0.0)
5,452,708	21,722,183	100.0	5.3		45,311,973	19,732,555	100.0	
1,013,460	9,177,850	21.9	10.4		9,462,649	8,234,935	20.9	
11.4	45.5				100.0	43.5		

普通建設事業の状況（普通会計）

区 分	決 算 額	財
		国 庫 支 出 金
総 務 費	179,915	
民 生 費	779,839	
衛 生 費	207,951	
農 業 費	18,099	
商 工 費	340	
土 木 費	8,608,488	672,184
消 防 費	1,279,284	
教 育 費	1,285,351	101,472
そ の 他	2,781	
合 計	12,362,048	773,656

（単位：千円）

源 内 訳			
都 支 出 金	地 方 債	その他の特定財源	一 般 財 源 等
			179,915
40,042	191,700	100,000	448,097
16,640			191,311
5,530			12,569
			340
850,703	270,900	3,045,746	3,768,955
		1,000,000	279,284
19,034	21,400	200,000	943,445
			2,781
931,949	484,000	4,345,746	5,826,697

地 方 債 現 在 高 の 状 況

区 分		平成 2 年度 末 現 在 高 A	平成 3 年度 発 行 額 B	平成 3 年度 財源対策債 発 行 額	平成 元 金 C
一 般 会 計	1 一 般 公 共 事 業	33,214			1,615
	2 一 般 単 独 事 業	7,135,118			443,534
	3 公 営 住 宅 建 設 事 業	1,162,144	91,400		20,602
	4 義 務 教 育 施 設 整 備 事 業	7,544,982			330,735
	5 公 共 用 地 先 行 取 得 等 事 業				
	6 一 般 廃 棄 物 処 理 事 業	3,795,670			351,015
	7 厚 生 福 祉 施 設 整 備 事 業	1,980,823	213,100		75,408
	8 財 源 対 策 債	559,939			46,315
	9 都 道 府 県 貸 付 金	1,113,435	227,000		72,518
	10 減収補てん債(昭和50年度分)				
	11 そ の 他				
小 計		23,325,325	531,500		1,341,742
下 水 道 事 業 特 別 会 計	1 一 般 公 共 事 業	165,649	29,500		5,657
	2 一 般 単 独 事 業	658,733			59,880
	3 財 源 対 策 債	31,862			1,118
	4 下 水 道 事 業	12,503,710	3,236,800		77,742
	小 計	13,359,954	3,266,300		144,397
市立総合病院事業会計		320,883			8,721
土地区画整理事業特別会計		103,950			
合 計		37,110,112	3,797,800		1,494,860

(単価:千円)

3 年度元利償還額		Dの財源内訳		差引現在高 A + B - C E	平成 3 年度 末財源対策 債 現 在 高	Eの借入先別内訳	
利 子	計 D	特定財源	税 等			政 府 資 金	そ の 他
1,903	3,518		3,518	31,599	1,005	31,599	
397,723	841,257		841,257	6,691,584	217,571	5,150,990	1,540,594
63,797	84,399	84,399		1,232,942		1,092,992	139,950
501,632	832,367		832,367	7,214,247	153,512	7,181,307	32,940
221,819	572,834		572,834	3,444,655	83,833	3,444,655	
128,326	203,734		203,734	2,118,515	57,703	2,118,515	
37,414	83,729		83,729	513,624		513,624	
62,683	135,201		135,201	1,267,917			1,267,917
1,415,297	2,757,039	84,399	2,672,640	22,515,083	513,624	19,533,682	2,981,401
9,647	15,304		15,304	189,492	30,744	189,492	
45,974	105,854		105,854	598,853		62,049	536,804
2,294	3,412		3,412	30,744		30,744	
675,500	753,242		753,242	15,662,768		10,171,541	5,491,227
733,415	877,812		877,812	16,481,857	30,744	10,453,826	6,028,031
23,691	32,412		32,412	312,162		312,162	
				103,950			103,950 (特定資金)
2,172,403	3,667,263	84,399	3,582,864	39,413,052	544,368	30,299,670	9,113,382

地方債借入先別及び利率別現在高の状況

利 率		平成 2 年度	平成 3 年度	平成 3 年度	差引現在高
借 入 先		現 在 高	発 行 額	償 還 元 金 額	A + B - C
		A	B	C	D
1. 政 府 資 金		28,818,106	2,576,200	1,094,638	30,299,668
内 訳	(1) 資 金 運 用 部	18,525,541	2,576,200	624,315	20,477,426
	内 (イ)以外 の も の	12,068,243	2,576,200	204,409	14,440,034
	訳 (イ)年金資金によるもの	6,457,298		419,906	6,037,392
	(2) 簡 易 保 険 局	10,292,565		470,323	9,822,242
2. 公 営 企 業 金 融 公 庫		6,181,430	843,600	204,724	6,820,306
3. 市 中 銀 行		41,660		8,720	32,940
4. 保 険 会 社					
5. 共 済 組 合 等		215,520		67,140	148,380
6. そ の 他		1,749,446	378,000	119,638	2,007,808
小 計 E		37,006,162	3,797,800	1,494,860	39,309,102
E の 内 訳	証 書 借 入 分	36,980,102	3,797,800	1,468,800	39,309,102
	証 券 発 行 分	26,060		26,060	
	う ち 登 録 債	26,060		26,060	
7. 特 定 資 金 (N T T)		103,950			103,950
合 計		37,110,112	3,797,800	1,494,860	39,413,052

(単位：千円)

D の 利 率 別 内 訳							
5.0 %	5.5 %	6.0 %	6.5 %	7.0 %	7.5 %	8.0 %	8.5 %
以 下	以 下	以 下	以 下	以 下	以 下	以 下	以 下
8,748,214	3,127,600		7,884,342	2,929,287	7,610,225		
5,221,362	3,127,600		3,990,347	2,317,500	5,820,617		
3,644,638	3,127,600		1,547,013	2,317,500	3,803,283		
1,576,724			2,443,334		2,017,334		
3,526,852			3,893,995	611,787	1,789,608		
1,822,100		843,600	1,082,905	758,500	1,978,632	334,569	
			27,120		5,820		
148,380							
1,123,353	166,319		91,655	77,000	549,481		
11,842,047	3,293,919	843,600	9,086,022	3,764,787	10,144,158	334,569	
11,842,047	3,293,919	843,600	9,086,022	3,738,727			
				26,060			
				26,060			
103,950							
11,945,997	3,293,919	843,600	9,086,022	3,764,787	10,144,158	334,569	

平成3年度 一般会計各款・節別決算額一覧表

節	款	1	2	3
		議 会 費	総 務 費	民 生 費
1. 報	酬	164,685,000	31,449,075	62,304,767
2. 給	料	41,903,319	942,351,432	1,169,592,814
3. 職 員 手 当 等		124,957,029	1,748,985,435	945,887,195
4. 共 済 費		22,438,126	491,018,762	183,652,074
5. 災 害 補 償 費		0	0	
7. 賃	金		24,132,273	121,425,689
8. 報 償 費		100,000	39,471,521	82,598,005
9. 旅	費	8,502,157	13,288,686	6,454,980
10. 交 際 費		2,498,317	3,550,201	
11. 需 用 費		13,949,909	282,161,119	290,569,864
12. 役 務 費		202,868	70,806,669	31,526,281
13. 委 託 料		8,405,750	(繰明) 9,476,000 523,253,130	1,007,153,578
14. 使用料及び賃借料		337,710	173,258,449	45,201,701
15. 工 事 請 負 費			128,997,200	206,793,100
16. 原 材 料 費			253,730	214,909
17. 公 有 財 産 購 入 費				18,659,168
18. 備 品 購 入 費		2,866,093	61,862,508	55,760,542
19. 負担金、補助及び交付金		11,119,425	171,106,051	343,163,546
20. 扶 助 費				3,848,258,211
21. 貸 付 金				15,790,000
22. 補償、補填及び賠償金			389,001	
23. 償還金、利子及び割引料			136,401,521	433,390
24. 投 資 及 び 出 資 金			1,000,000	
25. 積 立 金			2,169,569,029	
26. 寄 附 金			1,000,000	
27. 公 課 費			1,344,700	
28. 繰 出 金			50,881,453	876,029,000
予 備 費				
合 計		401,965,703	(繰明) 9,476,000 7,066,531,945	9,311,468,814

(単位：円)

4	5	6	7	8
衛 生 費	労 働 費	農 業 費	商 工 費	土 木 費
119,000	833,000	10,296,000		2,675,000
278,451,622	11,714,913	37,072,457	13,485,771	347,796,702
265,662,399	10,198,303	33,300,301	11,662,517	309,623,197
44,359,678	1,818,634	5,634,668	2,077,024	53,817,023
33,269,736		462,247		4,288,675
15,270,973	220,000	1,888,727	145,986	1,943,100
750,040	249,246	1,322,416	89,254	2,799,032
		132,370		
390,068,155	2,213,467	2,685,997	2,996,110	130,766,123
158,067,815	129,619	112,630	90,630	25,876,912
1,219,393,250	14,849,641	339,858	700,000	(繰明)84,133,000 827,012,156
1,055,707	82,930	855,150	17,000	5,617,299
45,299,400			339,900	1,682,418,950
537,601				13,752,148
				1,151,680,204
53,278,168				1,876,648
910,081,382	21,406,000	39,959,686	49,911,782	94,283,077
	2,030,400			
	43,000,000		125,000,000	
				14,815,075
35,771,000				77,000,000
2,394,300				
				5,313,106,000
3,453,830,226	108,746,153	134,062,507	206,515,974	(繰明)84,133,000 10,061,147,321

節	款	9	10	11
		消 防 費	教 育 費	公 債 費
1. 報 酬		24,603,100	148,004,896	
2. 給 料			1,354,977,434	
3. 職 員 手 当 等			1,060,200,912	
4. 共 済 費			210,182,060	
5. 災 害 補 償 費				
7. 賃 金			62,952,244	
8. 報 償 費		11,476,904	61,858,087	
9. 旅 費		841,790	7,189,181	
10. 交 際 費		60,000	3,028,452	
11. 需 用 費		20,723,779	900,403,301	
12. 役 務 費		1,987,653	40,136,428	59,265
13. 委 託 料		1,439,767,857	527,625,273	
14. 使用料及び賃借料		604,148	109,255,974	
15. 工 事 請 負 費		145,402,500	1,564,522,000	
16. 原 材 料 費		979,019	2,496,051	
17. 公 有 財 産 購 入 費		1,107,994,298	13,908,420	
18. 備 品 購 入 費		10,099,047	412,824,792	
19. 負担金、補助及び交付金		42,355,492	378,773,482	
20. 扶 助 費			87,410,748	
21. 貸 付 金			266,600	
22. 補償、補填及び賠償金			8,002,193	
23. 償還金、利子及び割引料			2,599,890	2,757,039,311
24. 投 資 及 び 出 資 金				
25. 積 立 金				
26. 寄 附 金				
27. 公 課 費		415,800		
28. 繰 出 金				
予 備 費				
合 計		2,807,311,387	6,956,618,418	2,757,098,576

※（繰明）は再掲 （単位：円）

12	13	合 計	
諸 支 出 金	予 備 費	予 算 額	決 算 額
		448,617,000	444,969,838
		4,211,812,000	4,197,346,464
		4,529,278,000	4,510,477,288
		1,021,686,000	1,014,998,049
		2,000	0
		262,688,000	246,530,864
		220,504,000	214,973,303
		45,592,000	41,486,782
		10,075,000	9,269,340
		2,117,985,000	2,036,537,824
		352,468,000	328,996,770
		(繰明) 105,435,000 5,661,487,000	(繰明) 93,609,000 5,568,500,493
		342,333,000	336,286,068
		3,807,990,000	3,773,773,050
		20,019,000	18,233,458
		2,295,038,000	2,292,242,090
		606,060,000	598,567,798
854,850,201		2,966,992,000	2,917,010,124
		3,946,023,000	3,937,699,359
50,000,000		234,267,000	234,056,600
		32,961,000	23,206,269
		2,902,041,000	2,896,474,112
		116,711,000	113,771,000
		2,169,576,000	2,169,569,029
		1,000,000	1,000,000
		4,556,000	4,154,800
		6,240,017,000	6,240,016,453
		46,282,000	
904,850,201		(繰明) 105,435,000 44,614,060,000	(繰明) 93,609,000 44,170,147,225

一般会計給与費明細書

予 算 科 目		職員数 (人)		給 与	
款	項	特別職	一般職	報 酬	給 料
1. 議 会 費		30	10	164,685,000	41,903,319
	1. 議 会 費	30	10	164,685,000	41,903,319
2. 総 務 費		485	243	31,449,075	942,351,432
	1. 総 務 管 理 費	74	147	19,820,245	603,860,671
	2. 徴 税 費	14	60	272,000	213,569,724
	3. 戸籍住民基本台帳費		22		78,838,412
	4. 選 挙 費	126	5	5,003,500	20,177,285
	5. 統 計 調 査 費	269	3	4,463,330	10,475,314
	6. 監 査 委 員 費	2	3	1,890,000	15,430,026
3. 民 生 費		295	336	62,304,767	1,169,592,814
	1. 社 会 福 祉 費	199	69	19,165,050	250,061,730
	2. 児 童 福 祉 費	95	259	41,981,717	890,721,938
	3. 生 活 保 護 費	1	8	1,158,000	28,809,146
4. 衛 生 費		17	83	119,000	278,451,622
	1. 保 健 衛 生 費	17	24	119,000	82,948,603
	2. 清 掃 費		59		195,503,019
5. 労 働 費		16	3	833,000	11,714,913
	1. 労 働 諸 費	16	3	833,000	11,714,913
6. 農 業 費		20	8	10,296,000	37,072,457
	1. 農 業 費	20	8	10,296,000	37,072,457
7. 商 工 費			3		13,485,771
	1. 商 工 費		3		13,485,771

(単位：円)

費		共 済 費	合 計
職 員 手 当 等	計		
124,957,029	331,545,348	22,438,126	353,983,474
124,957,029	331,545,348	22,438,126	353,983,474
1,748,985,435	2,722,785,942	491,018,762	3,213,804,704
1,439,151,648	2,062,832,564	438,963,954	2,501,796,518
188,690,003	402,531,727	32,912,349	435,444,076
68,190,223	147,028,635	12,115,616	159,144,251
29,111,701	54,292,486	3,078,737	57,371,223
9,010,117	23,948,761	1,629,830	25,578,591
14,831,743	32,151,769	2,318,276	34,470,045
945,887,195	2,177,784,776	183,652,074	2,361,436,850
218,810,795	488,037,575	38,803,810	526,841,385
698,578,832	1,631,282,487	140,366,473	1,771,648,960
28,497,568	58,464,714	4,481,791	62,946,505
265,662,399	544,233,021	44,359,678	588,592,699
71,555,082	154,622,685	12,947,280	167,569,965
194,107,317	389,610,336	31,412,398	421,022,734
10,198,303	22,746,216	1,818,634	24,564,850
10,198,303	22,746,216	1,818,634	24,564,850
33,300,301	80,668,758	5,634,668	86,303,426
33,300,301	80,668,758	5,634,668	86,303,426
11,662,517	25,148,288	2,077,024	27,225,312
11,662,517	25,148,288	2,077,024	27,225,312

予 算 科 目		職員数 (人)		給 与	
款	項	特別職	一般職	報 酬	給 料
8. 土 木 費		78	94	2,675,000	347,796,702
	1. 土 木 管 理 費		29		111,710,277
	2. 道 路 橋 り ょ う 費	23	24	144,500	76,632,932
	3. 河 川 費		10		35,742,975
	4. 都 市 計 画 費	55	31	2,530,500	123,710,518
9. 消 防 費		519		24,603,100	
	1. 消 防 費	519		24,603,100	
10. 教 育 費		356	375	148,004,896	1,354,977,434
	1. 教 育 総 務 費	12	28	15,090,850	108,780,551
	2. 小 学 校 費	121	160	57,914,260	597,647,758
	3. 中 学 校 費	48	86	22,988,680	310,444,367
	4. 幼 稚 園 費	14	30	4,704,000	86,770,146
	5. 社 会 教 育 費	136	63	44,411,156	225,576,754
	6. 体 育 費	25	8	2,895,950	25,757,858
合 計		1,816	1,152	444,969,838	4,197,346,464
職員手当等の内訳		扶 養 手 当		120,181,810	
		調 整 手 当		445,791,160	
		管 理 職 手 当		185,500,896	
		特 殊 勤 務 手 当		25,430,434	
		児 童 手 当		2,407,500	
		期 末 勤 勉 手 当		2,381,527,270	

注 1. 職員数は平成4年3月31日現在の人数による。

2. 特別職は報酬支給対象委員のみとした。

(単位：円)

費		共 済 費	合 計
職 員 手 当 等	計		
309,623,197	660,094,399	53,817,023	713,911,422
99,540,891	211,251,168	17,285,463	228,536,631
65,991,200	142,768,632	11,930,294	154,698,926
33,814,286	69,557,261	5,528,126	75,085,387
110,276,820	236,517,338	19,073,140	255,590,478
	24,603,100	0	24,603,100
	24,603,100	0	24,603,100
1,060,200,912	2,563,183,242	210,182,060	2,773,365,302
96,942,845	220,814,246	16,420,864	237,235,110
437,786,215	1,093,348,233	93,335,725	1,186,683,958
233,044,990	566,478,037	48,352,473	614,830,510
69,970,571	161,444,717	13,579,230	175,023,947
198,873,935	468,861,845	34,771,257	503,633,102
23,582,356	52,236,164	3,722,511	55,958,675
4,510,477,288	9,152,793,590	1,014,998,049	10,167,791,639
通 勤 手 当	118,281,810		
時 間 外 勤 務 手 当	149,791,602		
住 居 手 当	184,522,793		
退 職 手 当	894,003,870		
そ の 他	3,038,143		

財政部 基金 運用 状況

財政部基金

財政部基金の運用状況

財政部基金の運用状況

財政部基金の運用状況

基金の運用状況

財政部基金の運用状況

財政部基金の運用状況

財政部基金の運用状況

財政部基金の運用状況

。基金運用状況

地方自治法第241条第5項の規定に基づき、平成3年度における基金の運用状況について報告します。

基金の運用状況

平成4年9月

日野市長 森 田 喜美男

基金の種類

- (1) 用品調達基金
- (2) 国民年金印紙調達基金
- (3) 国民健康保険高額療養費貸付基金
- (4) 老人入院看護料貸付基金
- (5) 土地開発基金

平成3年度 用品調達基金運用状況報告書

(1) 平成3年度 用品調達基金運用状況

収入額 20,035,659円
 執行額 20,035,659円
 未収金 0円

支出額 18,903,678円
 執行額 18,903,678円
 未払金 0円

翌年度繰越額

現金 4,561,717円
 在庫 1,438,283円
 未収金 0円
 未払金 0円

(現金＋在庫＋未収金)－未払金＝6,000,000円

回転数 支出額÷6,000,000円＝3.15

用品調達基金利子 11,503円

(一般会計へ)

(2) 平成3年度末における基金の状況

(単位：円)

収入	執行額	20,035,659
	未収金	0
	合計	20,035,659
支出	執行額	18,903,678
	未払金	0
	合計	18,903,678
棚卸による増減	利益・損失	17,118
	過不足額	△2,623
	差引額	14,495
在庫		1,438,283
現金		4,561,717

(3) 利益及び損失

〔利益〕

運用収益 47,118円 — ①

〔損失〕

(印刷)

封筒(マチ付) 3円×5,000束=15,000円

封筒(中) 30円×500束=15,000円

30,000円 — ②

差 引 ①-②=17,118円

(4) 用品過不足調書

(△は不足分)

No.	品名	規格	単位	数量	単価	金額	備考
1	鉛筆	2H	打	2	円 370	円 740	
2	マジックインキ	赤	箱	1	906	906	
3	ボールペン	青(ゼブラ)	箱	1	504	504	
4	スベアインキ		箱	△2	226	△452	
5	スタンプインキ	黒	個	1	530	530	
6	筆	中	本	△5	463	△2,315	
7	筆ペン		本	△7	154	△1,078	
8	輪ゴム		箱	1	226	226	
9	用せん挟	B5S	枚	△1	278	△278	
10	ビニールテープ	赤	巻	20	86	1,720	
11	"	黄	巻	8	86	688	
12	"	白	巻	10	86	860	
13	紙テープ	黄	巻	4	46	184	
14	"	緑	巻	4	46	184	
15	ファイル	桃	包	△1	576	△576	
16	綴込表紙	B5EA	組	1	173	173	
17	祝儀袋		束	3	103	309	
18	仏儀袋		束	4	103	412	
19	雑巾		枚	6	62	372	
20	軍手		双	10	41	410	
21	ゴム手袋	M給食	双	9	172	1,548	
22	支出伝票		冊	△3	750	△2,250	
23	封筒	大	束	△2	720	△1,440	
24	"	特中	束	△1	700	△700	
25	"	小	束	△20	165	△3,300	

※ いずれも台帳登記数と在庫数との比較増減

9,766円-△12,389円=△2,623円(△不足額)

平成3年度 国民年金印紙調達基金運用状況報告書

1. 総括表

(単位：円)

種 別	金 額	内 訳
基金の額	50,000,000	
2年度印紙繰越額	35,118,960	2. 参照
印紙購入執行状況	1,370,000,000	3. 参照
印紙売却状況	1,393,345,340	3. 参照
印紙残額	11,773,620	(前年度印紙繰越額+印紙購入執行状況 -印紙売却執行状況) (35,118,960+1,370,000,000 -1,393,345,340)
預金残額	38,226,380	

2. 平成2年度基金繰越額

(単位：円)

基金の額	印 紙	現 金
50,000,000	35,118,960	14,881,040

3. 執行状況(月別)

(単位：円)

月	印紙購入状況	印紙売却状況
4	290,000,000	244,765,560
5	80,000,000	129,191,380
6	80,000,000	63,771,800
7	80,000,000	113,778,800
8	160,000,000	101,851,800
9	80,000,000	79,465,800
10	80,000,000	105,994,600
11	80,000,000	99,316,200
12	160,000,000	118,839,400
1	80,000,000	123,762,200
2	160,000,000	87,529,400
3	40,000,000	125,078,400
合 計	1,370,000,000	1,393,345,340

4. 平成4年度基金残(平成3年度繰越)

(単位：円)

基金の額	印 紙	現 金
50,000,000	11,773,620	38,226,380

印紙残内訳

(単位：円)

印紙の種類	印紙枚数	金 額
10円印紙	52枚	520
100円印紙	51枚	5,100
1,000円印紙	38枚	38,000
10,000円印紙	43枚	430,000
100,000円印紙	68枚	6,800,000
500,000円印紙	9枚	4,500,000
2,000,000円印紙	0枚	0
合 計	261枚	11,773,620

5. 回転率

回 転 = 印紙購入執行状況 ÷ 基金額

27.4回 = 1,370,000,000円 ÷ 50,000,000円

平成3年度 国民健康保険高額療養費貸付基金
運用状況報告書

(1) 総括

基金の額 10,000,000円

(単位:円)

区分 年度	年度当初 貸付残額	貸付総額	償還総額	年度末 貸付残額	年度末現金
2	533,365	5,280,413	5,137,937	675,841	9,324,159
3	675,841	13,317,867	11,170,857	2,822,851	7,177,149

(2) 月別執行状況

基金の額	10,000,000	前年度貸付残額	675,841
------	------------	---------	---------

(単位:円)

区分 月	当月貸付額	当月償還額	当月末 貸付残額	当月末現金	貸付件数	償還件数
4	753,681	167,289	1,262,233	8,737,767	5件	3
5	374,046	437,754	1,198,525	8,801,475	4	4
6	252,432	755,577	695,380	9,304,620	4	5
7	570,756	379,029	887,107	9,112,893	6	6
8	1,496,190	310,878	2,072,419	7,927,581	7	4
9	2,159,088	518,163	3,713,344	6,286,656	11	5
10	863,904	2,695,332	1,811,916	8,118,084	9	10
11	247,881	899,052	1,230,745	8,769,255	2	7
12	964,770	757,083	1,438,432	8,561,568	9	7
1	2,199,300	990,645	2,647,087	7,352,913	5	8
2	2,167,266	627,309	4,187,044	5,812,956	7	5
3	1,268,553	2,632,746	2,822,851	7,177,149	4	6
合計	13,317,867	11,170,857			73	70

平成3年度 老人入院看護料貸付基金運用状況報告書

(1) 総括

基金の額 10,000,000円

(単位:円)

区分 年度	年度当初 貸付残高	貸付総額	償還総額	年度末 貸付残高	年度末残高
3	0	3,188,000	2,788,000	400,000	9,600,000

(2) 月別執行状況

(単位:円)

区分 月	当月貸付額	当月償還額	当月末貸付残高	当月末残高
4	0	0	0	10,000,000
5	0	0	0	10,000,000
6	0	0	0	10,000,000
7	0	0	0	10,000,000
8	0	0	0	10,000,000
9	364,000	0	364,000	9,636,000
10	553,000	174,000	743,000	9,257,000
11	324,000	540,000	527,000	9,473,000
12	735,000	527,000	735,000	9,265,000
1	406,000	561,000	580,000	9,420,000
2	406,000	580,000	406,000	9,594,000
3	400,000	406,000	400,000	9,600,000
合計	3,188,000	2,788,000		9,600,000

平成 3 年度 土地開発基金運用状況報告書

(単位: 円)

前年度末 基金の額	左 の 内 訳			決算年度中 の 基 金 増 加 額	左 の 内 訳		決算年度末 基 金 の 額	決算年度中 の土地売却 収 入 額
	土地保有額	土地取得事業 特別会計へ貸 付中のもの	運用残額		一 般 財 源 積立額	運用収益 積立額		
A(B+C+D)	B	C	D	E(F+G)	F	G	H(A+E)	I
795,071,215	64,403,086	0	730,668,129	50,881,453	0	50,881,453	845,952,668	25,661,000

決算年度中の 土地取得事業 特別会計貸付 回 収 額	決算年度中の 運用対象額	決算年度中の 基金運用額	左 の 内 訳		決算年度末の基金の内訳		
			土地取得額	土地取得事業 特別会計への 貸 付 額	土地取得額	土地取得事業特別 会 計 へ 貸付中のもの	運用残額
J	K(A+E+I+J)	L(M+N)	M	N	O(B-I+M)	P(C-J+N)	Q(D+E+I-L)
0	871,613,668	52,640,000	52,640,000	0	91,382,086	0	754,570,582

正 誤 表

平成 3 年 度 主要な施策の成果・基金の運用状況

頁	箇 所	正	誤
1	下から 3 行目	公 <u>債</u> 費比率	公 <u>積</u> 費比率
4	上から 15 行目	日野駅西第 5 自転車 等 <u>駐</u> 車場新設	日野駅西第 5 自転車 駐車場等 <u>新</u> 設
12	事業の概要欄上から 9 行目	聖 <u>蹟</u> 桜ヶ丘駅	聖 <u>跡</u> 桜ヶ丘駅
24	事業の概要欄下から 8 行目	フッ <u>素</u> 樹脂鋼板	フッ__樹脂鋼板
128	事業費欄下から 7 行目	国庫支出金 51,600	国庫支出金 50,600
	事業費欄下から 3 行目	一般財源 1,230,507	一般財源 1,231,507
131	成果欄下から 1 行目	権利調 <u>査</u> を実施した。	権利調 <u>書</u> を実施した。
138	事業の概要欄下から 5 行目	豊田排水 <u>樋</u> 管設置	豊田排水 <u>桶</u> 管設置

